

## 指定管理者制度導入施設に係るモニタリング結果の概要

指定管理者制度を導入している公の施設について、令和4年度の管理運営状況等のモニタリングを実施しましたので、その結果をお知らせします。

### 1 モニタリングの目的

指定管理者が施設を適切に管理運営しているか状況を確認するとともに、導入の目的であるサービスの質の向上や効率的な運営について、その達成の度合いを測定し、指定管理者制度の効率的な運用を図る。

### 2 モニタリング対象施設

指定管理者制度を導入している公の施設（計 176 施設）

※ 導入施設一覧については、2 ページ参照

### 3 モニタリング項目

- (1) 管理業務の実施状況
- (2) 施設利用実績
- (3) 利用促進に向けた新たな取組
- (4) 収支結果
- (5) サービスの質の評価（利用者満足度調査結果等）
- (6) 課題と改善方策等
- (7) 労働条件・環境

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設一覧

種類	施設名	施設数	設置条例	指定管理者	指定期間	選定方法		利用料金制度	所管課・室
						公募	従前		
1	大島防災センター	1	山口県防災センター条例	周防大島町	H30.4.1～R5.3.31		新規	○	防災危機管理課
2	セミナーパーク	1	山口県セミナーパーク条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	政策企画課
3	やまぐち県民活動支援センター	1	山口県県民活動支援センター条例	NPO法人やまぐち県民ネット21	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		県民生活課
4	ビジターセンター (豊田湖)	1	山口県自然公園施設条例	下関市	R3.4.1～R8.3.31		委託		自然保護課
	ビジターセンター (須佐湾)	1	山口県自然公園施設条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託		自然保護課
	ビジターセンター (角島)	1	山口県自然公園施設条例	下関市	R3.4.1～R8.3.31		委託		自然保護課
	ビジターセンター (秋吉台)	1	山口県自然公園施設条例	美祢市	R3.4.1～R8.3.31		委託		自然保護課
5	きらら浜自然観察公園	1	山口県立自然観察公園条例	NPO法人野鳥やまぐち	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	自然保護課
6	健康づくりセンター	1	山口県健康づくりセンター条例	(公財) 山口県健康福祉財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	健康増進課
7	聴覚障害者情報センター	1	身体障害者社会参加支援施設条例	(福) 山口県聴覚障害者福祉協会	R3.4.1～R8.3.31		委託		障害者支援課
	身体障害者福祉センター	1	身体障害者社会参加支援施設条例	(公社) 山口県障害者スポーツ協会	H31.4.1～R6.3.31	○	直営		障害者支援課
8	みほり学園	1	児童福祉施設条例	(福) 山口県社会福祉事業団	R3.4.1～R8.3.31		委託		こども家庭課
9	母子・父子福祉センター	1	山口県母子・父子福祉施設条例	(一財) 山口県母子寡婦福祉連合会	R3.4.1～R8.3.31		委託		こども家庭課
10	国際総合センター	1	山口県国際総合センター条例	(一財) 山口県国際総合センター	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	新産業振興課
11	山口しごとセンター	1	山口県しごとセンター条例	(株) 日本マンパワー	R2.4.1～R7.3.31	○	直営		労働政策課
12	下関武道館	1	山口県スポーツ交流まちづくり拠点施設条例	ミズノグループ	R3.4.1～R8.3.31		新規	○	スポーツ推進課
	スポーツ交流村	1	山口県スポーツ交流まちづくり拠点施設条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	スポーツ推進課
13	美術館	1	山口県立美術館条例	サントリーパブリシティサービスグループ	R3.4.1～R8.3.31	○	直営	○	文化振興課
	萩美術館・浦上記念館	1	山口県立美術館条例	サントリーパブリシティサービスグループ	R3.4.1～R8.3.31	○	直営	○	文化振興課
14	県民文化ホールいわくに	1	山口県民文化ホール条例	サントリーパブリシティサービスグループ	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	文化振興課
15	秋吉台国際芸術村	1	山口県芸術村条例	(公財) 山口きらめき財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	文化振興課
16	県民芸術文化ホールながと	1	山口県民芸術文化ホール条例	(公財) 長門市文化振興財団	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	文化振興課
17	埋蔵文化財センター	1	山口県埋蔵文化財センター条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		文化振興課
18	やまぐちフラワーランド	1	山口県フラワーランド条例	(一財) やない花のまちづくり振興財団	R3.4.1～R8.3.31	○	新規	○	農業振興課
19	栽培漁業センター (外海)	1	山口県栽培漁業センター条例	(公社) 山口県栽培漁業公社	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		水産振興課
	栽培漁業センター (外海第二)	1	山口県栽培漁業センター条例	(公社) 山口県栽培漁業公社	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		水産振興課
	栽培漁業センター (内海)	1	山口県栽培漁業センター条例	(公社) 山口県栽培漁業公社	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		水産振興課
20	漁港施設 (徳山漁港プレジャーボート用浮桟橋等)	1	山口県漁港管理条例	山口県漁業協同組合	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	漁港漁場整備課
	漁港施設 (見島漁港可動橋)	1	山口県漁港管理条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	漁港漁場整備課
	漁港施設 (見島漁港宇津多目的広場)	1	山口県漁港管理条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	漁港漁場整備課
21	都市公園 (維新百年記念公園)	1	山口県立都市公園条例	(一財) 山口県施設管理財団	R2.4.1～R7.3.31	○	委託	○	都市計画課
	都市公園 (片添ヶ浜海浜公園)	1	山口県立都市公園条例	周防大島町	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	都市計画課
	都市公園 (萩ウェルネスパーク)	1	山口県立都市公園条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	都市計画課
	都市公園 (山口きらら博記念公園)	1	山口県立都市公園条例	きらら未来創発パートナーズ	H31.4.1～R6.3.31	○	直営	○	都市計画課
22	流域下水道 (周南)	1	山口県流域下水道条例	総合設備管理 (株)	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		都市計画課
	流域下水道 (田布施川)	1	山口県流域下水道条例	総合設備管理 (株)	R3.4.1～R8.3.31	○	委託		都市計画課
23	港湾施設 (岩国港新港運動公園)	1	山口県港湾施設管理条例	岩国市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
	港湾施設 (室津港室津湾施設)	1	山口県港湾施設管理条例	上関町	R3.4.1～R8.3.31		新規	○	港湾課
	港湾施設 (平生港水場地区物揚場等)	1	山口県港湾施設管理条例	平生町	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	港湾課
	港湾施設 (徳山下松港はなぐり緑地)	1	山口県港湾施設管理条例	下松市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
	港湾施設 (徳山下松港下松埠頭公園)	1	山口県港湾施設管理条例	下松市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
	港湾施設 (徳山下松港洲鼻船だまり)	1	山口県港湾施設管理条例	下松市	R2.4.1～R7.3.31		新規	○	港湾課
	港湾施設 (徳山下松港晴海緑地公園)	1	山口県港湾施設管理条例	周南市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
	港湾施設 (徳山下松港櫛ヶ浜船だまり)	1	山口県港湾施設管理条例	周南市	R3.4.1～R8.3.31		新規		港湾課
	港湾施設 (徳山下松港築港緑地)	1	山口県港湾施設管理条例	周南市	R4.2.1～R8.3.31		新規		港湾課
	港湾施設 (三田尻港築地港湾施設)	1	山口県港湾施設管理条例	防府市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
	港湾施設 (三田尻港三田尻緑地公園)	1	山口県港湾施設管理条例	防府市	R3.4.1～R8.3.31		新規		港湾課
	港湾施設 (萩港浜崎物揚場等)	1	山口県港湾施設管理条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	港湾課
	港湾施設 (萩港潟港緑地)	1	山口県港湾施設管理条例	萩市	R3.4.1～R8.3.31		委託		港湾課
港湾施設 (萩港潟港港湾施設)	1	山口県港湾施設管理条例	(株) マリーナ萩	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	港湾課	
24	県営住宅等	79	山口県営住宅条例等	(一財) 山口県施設管理財団	R2.4.1～R7.3.31	○	直営		住宅課
	県営住宅等	41	山口県営住宅条例等	(一財) 山口県施設管理財団	R2.4.1～R7.3.31	○	委託		住宅課
	県営住宅等	1	山口県営住宅条例等	(一財) 山口県施設管理財団	R2.4.1～R7.3.31	○	新規		住宅課
	県営住宅等	1	山口県営住宅条例等	(一財) 山口県施設管理財団	R3.6.1～R7.3.31		新規		住宅課
25	青少年自然の家 (油谷)	1	山口県青少年自然の家条例	(株) F E E L	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	学校運営・施設整備室
	青少年自然の家 (秋吉台)	1	山口県青少年自然の家条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	学校運営・施設整備室
	青少年自然の家 (十種ヶ峰)	1	山口県青少年自然の家条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31		委託	○	学校運営・施設整備室
	青少年自然の家 (由宇)	1	山口県青少年自然の家条例	(公財) 山口県ひとづくり財団	R3.4.1～R8.3.31	○	委託	○	学校運営・施設整備室
合計			25種類 176施設						

## 各施設のモニタリング概要

	頁		頁
○ 大島防災センター	4	○ 見島漁港宇津多目的広場	35
○ セミナーパーク	5	○ 維新百年記念公園	36
○ やまぐち県民活動支援センター	6	○ 片添ヶ浜海浜公園	37
○ 豊田湖ビジターセンター	7	○ 萩ウェルネスパーク	38
○ 須佐湾ビジターセンター	8	○ 山口きらら博記念公園	39
○ 角島ビジターセンター	9	○ 周南流域下水道	40
○ 秋吉台ビジターセンター	10	○ 田布施川流域下水道	41
○ きらら浜自然観察公園	11	○ 岩国港 新港運動公園	42
○ 健康づくりセンター	12	○ 室津港 室津港湾施設	43
○ 聴覚障害者情報センター	13	○ 平生港 水場地区物揚場等	44
○ 身体障害者福祉センター	14	○ 徳山下松港 はなぐり緑地	45
○ みほり学園	15	○ 徳山下松港 下松埠頭公園	46
○ 母子・父子福祉センター	18	○ 徳山下松港 洲鼻船だまり	47
○ 国際総合センター	19	○ 徳山下松港 晴海緑地公園	48
○ 山口しごとセンター	21	○ 徳山下松港 櫛ヶ浜船だまり	49
○ 下関武道館	22	○ 徳山下松港 築港緑地	50
○ スポーツ交流村	23	○ 三田尻港 築地港湾施設	51
○ 美術館	24	○ 三田尻港 三田尻緑地公園	52
○ 萩美術館・浦上記念館	25	○ 萩港 浜崎物揚場等	53
○ 県民文化ホールいわくに	26	○ 萩港 潟港緑地	54
○ 秋吉台国際芸術村	27	○ 萩港 潟港施設	55
○ 県民芸術文化ホールながと	28	○ 県営住宅等	56
○ 埋蔵文化財センター	29	○ 油谷青少年自然の家	58
○ やまぐちフラワーランド	30	○ 秋吉台青少年自然の家	59
○ 栽培漁業センター (外海、外海第二、内海)	32	○ 十種ヶ峰青少年自然の家	60
○ 徳山漁港プレジャーボート用浮棧橋等	33	○ 由宇青少年自然の家	61
○ 見島漁港可動橋	34		

指定管理施設名	大島防災センター				
指定管理者名	周防大島町				
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務	利用業務	自主運営業務	
	業務内容	○清掃業務 ○保守点検業務 ○修繕業務	○受付事務 ○利用促進業務 ○飲食提供業務	○防災に関する研修業務 ○防災に関する相談及び情報の提供業務	
	実施状況	○良好に実施している。	○良好に実施している。	○良好に実施している。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	3,721		
		令和4年度	5,260		
		増減	1,539		
	実績の分析	○利用者数は前年度と比較し約40%増加したが、これは社会経済活動が一定程度回復したことによるものと考える。 ○一般来館者は3,921人(前年度3,018人)、多目的ホール・会議室の利用者は1,339人(前年度703人)と、どちらも大幅に前年度を上回った。			
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	27,273,000	27,315,019	42,019	
	支出	27,273,000	27,315,019	42,019	
	差引(収入－支出)	0	0	0	
	○収入：多目的ホール等利用の増により、使用料収入が予算額を若干上回った。 ○支出：電気料金等が大幅に増加した中で安定した運営を行えるよう、計画的な経費執行に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○適正にサービスを実施している。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○出前講座や掲示物には最新の地震災害をテーマにするなど、新しく正しい知識の普及・啓発に努めている。 ○最新の南海トラフ地震の被害想定を反映したデータ・展示物の更新等には多額の費用がかかるため、設備の維持に努め、経費削減を図っている。			
	現状の課題	○供用開始から14年が経過し、設備・備品の一部に経年劣化が見られるほか、平成26年3月に県内15市町が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されたことを踏まえ、新たな視点での防災思想の普及・啓発に取り組む必要がある。			
	改善方策	○展示物等の更新等を計画的に行い、正しい知識の普及・啓発及び利用者の増加に努めるほか、今後更なる増加が見込まれる修繕経費を念頭に管理の効率化を進める必要がある。			
数値目標 (利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	10,000	10,000	10,000	10,000
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	セミナーパーク				
指定管理者名	公益財団法人山口県ひとづくり財団				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	施設目的推進業務		施設の運営業務	
	業務内容	○セミナーパークの施設を利用して、設置目的である県民の学習活動及び交流を促進する事業を実施すること。		○セミナーパーク施設の使用許可、利用促進等施設の運営に関する業務を実施すること。	
	実施状況	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小した事業もあるが、予定していた全ての事業を実施した。		○施設の使用許可業務は適切に行われた。 ○アンケート等により利用者のニーズを把握し、取組に反映した。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度		115,463	
		令和4年度		130,727	
		増減		15,264	
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の活動自粛等はあったものの、施設の利用制限を行わなかったこと等により、利用者数は増加			
利用促進に向けた新たな取組	○施設のイメージアップと利便性向上のため、ホームページによる情報発信を強化 ○一部の研修室にインターネット環境を追加整備し、ホームページで周知 ○アルコール消毒等、新型コロナウイルス感染症対策の徹底による安全・安心な環境づくり				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	369,729,000	363,998,373	△5,730,627	
	支出	369,729,000	368,060,187	△1,668,813	
	差引(収入-支出)	0	△4,061,814	△4,061,814	
	○新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入の減等に伴い、収入が予算額を下回った。 ○支出において計画的な執行管理に努めたが、光熱費高騰等の影響により、収支は赤字となった。				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)	○令和4年10月10日～10月16日の期間で利用者満足度調査を実施した。 ○満足・ほぼ満足の回答が93.8%であり、利用者から高い満足度評価を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○事業開催の周知について、ホームページへの掲載やメールマガジンによる配信、戸別配布型フリーペーパー等の活用など、様々な媒体を活用し積極的に行った。 ○アンケートにより講座受講者の意見やニーズを把握し、講座内容や運営について一層の充実を図った。 ○老朽化した設備の更新を施設利用者への影響等を踏まえながら計画的に実施した。			
	現状の課題	○施設目的推進業務参加者数(特に若者)の減少 ○施設利用者数の減少 ○老朽化設備の更新			
	改善方策	○施設目的推進業務について、発達段階に応じた取組を推進するとともに、事業のサポーターとして大学生や社会人の参画を得るなど、事業内容の充実を図る。 ○利用者アンケート等による改善点の把握に努め、リピーターの確保を図るとともに、ホームページ等の活用によるPRの強化により、施設利用者数の増加を図る。 ○老朽化した設備の計画的な更新を図る。			
数値目標(利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	162,400	173,400	180,400	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	やまぐち県民活動支援センター				
指定管理者名	特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	施設設備の維持管理等業務		県民活動推進に関する業務	
	業務内容	○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○開館日及び開館時間の変更に関する業務 ○施設の利用の許可に関する業務		○県民活動に関する情報及び資料の収集並びに提供に関する業務 ○県民活動に関する相談及び助言に関する業務 ○県民活動に関する研修に関する業務 ○県民活動団体等の交流の機会の提供に関する業務 ○県民活動に関する調査及び研究に関する業務 ○その他、県民活動を支援するために必要な業務	
	実施状況	○印刷機、丁合機、紙折機、裁断機などの施設備品の維持管理や、コロナ禍における利用制限の実施といった感染拡大防止を図る施設運営を行ったほか、センターの衛生環境を管理する担当者を配置した。		○メールマガジン発行、情報サイトの管理運営、組織基盤の強化を図る研修などを随時行ったほか、各センターや特定分野の中間支援組織等と協働して各種支援事業を実施した。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	7,673		
		令和4年度	9,034		
		増減	1,361		
実績の分析	○一時的にセンターを閉館した前年度に比べコロナ禍が落ちついてきたため、施設やサービスの利用が復調してきた。				
利用促進に向けた新たな取組	○年度途中のあいかさねっと一部改修の一環で、登録団体がボランティア募集情報を発信する際に(活動現場の雰囲気により伝わるように)写真や動画データを添付することができる環境を整備し、あいかさねっとの利用促進を図った。				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	22,459,000	22,458,030	△970	
	支出	22,459,000	22,588,787	129,787	
	差引(収入-支出)	0	△130,757	△130,757	
	○年度途中で複数の職員が入院等で断続的に欠勤となったため、その他のスタッフの稼働増や非常勤職員の常勤化により対応し、勤務体制がやや変動的になった結果、人件費が増加し、収支が赤字となった。				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)	○主催研修後、計14回ほど利用者を対象にアンケートを実施し、平均88.3点で好評を得た。 ○年度末には施設利用者を対象にアンケートを実施し、利用経験ありと回答されたサービスについては、利用者の86%が「よい・大変よい」と回答し、おおむね高評価を得た。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○活動団体の組織基盤強化を図るため、組織運営に関する研修をシリーズ形式で開催するとともに、一部の研修については事後的に「セミナーふりかえり会」を設けて、学習内容の血肉化や日常業務への落とし込みを促した。 ○評価に関しては、関連図書の配架や「質の評価」と呼ばれる手法の学習会を設けた。			
	現状の課題	○県民活動支援センター業務の柱として市町センターや関連支援組織への支援に関する業務が挙げられるが、現在は、各組織が相互に情報交換や学び合いができるような機会を提供する取組を行っている(例:支援スキルアップ研修)。 ○一方で、比較的小規模なセンターは、マンパワーが少なく、他センター職員と上記のような場を共にして学び合える機会を得ることが少なくなりがち、という課題が散見される。			
	改善方策	○上記のような集合機会を持ちつつ、県センターがより個別に寄り添う機会を増やしていく(例:各センター訪問、小規模センターからの個別相談対応)。			
数値目標(利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	9,300	9,400	9,500	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		豊田湖ビジターセンター			
指定管理者名		下関市			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務	
	業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然に関する資料等の収集及び展示に関すること</li> <li>○自然の観察の指導に関すること</li> <li>○自然保護思想の高揚のために必要な業務に関すること</li> <li>○開館日に開館し、又は臨時に閉館すること</li> <li>○開館時間を延長し、又は短縮すること</li> <li>○自然公園施設の利用を拒むこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然公園施設の施設及び設備の維持管理に関すること</li> </ul>	
	実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○四季の特色ある草木の収集展示や周辺自然の写真展示を実施</li> <li>○大自然の中での癒しの場づくりや、自然とのふれあいによる自然保護思想の普及啓発の取組、自然体験型イベントの実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設内警備</li> <li>○浄化槽保守点検</li> <li>○施設清掃・景観管理</li> <li>○設備・備品保守 など</li> </ul>	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	26,001		
		令和4年度	24,542		
		増 減	△1,459		
実績の分析	○アウトドアレジャー人気により増加した前年度に比べ減少したが、前々年度からは大幅に増加している。				
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	38,000,000	42,654,946	4,654,946	
	支 出	38,000,000	42,363,860	4,363,860	
	差引(収入-支出)	0	291,086	291,086	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設利用収入が減少したため、前年度に比べ収入が減少した。</li> <li>○キャンプ場の消耗品や備品などの購入費、施設の修繕費が減少したため、前年度に比べ支出が減少した。</li> </ul>				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○利用者への聞き取りやアンケートの結果はおおむね良好であるが、昆虫等の出没への不満があった。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設老朽化に伴う修繕箇所の緊急度の判断について、定期的に施設を巡回し修繕箇所の把握に努め、緊急度や優先順位を判定した。</li> <li>○修繕未対応箇所の保安等について、ロープ、立入禁止テープ及び張り紙等による利用者への注意喚起と施設職員による巡回を強化した。</li> </ul>			
	現状の課題	○施設の維持管理費の増加			
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○補修・修繕の緊急度を判断し、包括協定に基づき、予算の範囲内で優先順位をつけ、計画的に修繕を実施する。</li> <li>○修繕未対応箇所については、利用者への注意喚起や職員の巡回を実施する。</li> </ul>			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	16,000	16,000	20,000	20,000
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		須佐湾ビジターセンター				
指定管理者名		萩市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運營業務		維持管理業務		
	業 務 内 容	○自然に関する資料等の収集及び展示に関すること ○自然の観察の指導に関すること ○自然保護思想の高揚のために必要な業務に関すること ○開館日に開館し、又は臨時に閉館すること ○開館時間を延長し、又は短縮すること ○自然公園施設の利用を拒むこと		○自然公園施設の施設及び設備の維持管理に関すること		
	実 施 状 況	○自然観察などを実施 ・海浜清掃 ・海開き海浜清掃		○浄化槽保守点検業務、施設の修繕などを実施		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	5,742		
			令和4年度	5,173		
			増 減	△569		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症や天候の影響により、テント利用者が減少したことから、利用者数が減少した。			
利用促進に向けた新たな取組		○利用者の「気付きメモ紙」を設置した。 ○券売機の導入や脱衣所へ小型ファンヒーターを設置した。 ○ホームページ、インターネット予約をリニューアルした。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	16,100,000	25,989,534	9,889,534	
		支 出	14,500,000	13,520,245	△979,755	
		差引(収入-支出)	1,600,000	12,469,289	10,869,289	
		○施設利用料金収入は右肩上がりに推移している。 ○新サービスの導入や設備投資等により支出も増加傾向にある。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○利用者への聞き取りやアンケート調査を実施しており、結果は良好である。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○新たな利用者の誘致等については、ホームページのリニューアルに伴う予約システムの変更により連泊予約が可能となったことで、新規利用者を取り込むことができた。 ○労働力不足については、業務改善により人と時間を効率化した。				
	現状の課題	○新規利用者の定着 ○サービスの形式化 ○施設の老朽化				
	改善方策	○新規利用者の定着については、ホームページやSNS等により情報発信を行う。 ○サービスの形式化については、魅力的な新しいサービスの提案を行う。 ○施設の老朽化については、計画的な修繕に取り組んでいく。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	6,000	6,000	6,000	6,000
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			



指定管理施設名	角島ビジターセンター				
指定管理者名	下関市				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運營業務			維持管理業務
	業 務 内 容	○自然に関する資料等の収集及び展示に関すること ○自然の観察の指導に関すること ○自然保護思想の高揚のために必要な業務に関すること ○開館日に開館し、又は臨時に閉館すること ○開館時間を延長し、又は短縮すること ○自然公園施設の利用を拒むこと			○自然公園施設の施設及び設備の維持管理に関すること
	実 施 状 況	○自然観察会の実施（4回、計108名参加）（豊北町自然観察指導員会に委託） ○自然観察会の様子を随時展示し来館を促進 ○来館者に自然館内展示物についての解説及び自然保護の呼びかけを実施			○消防用設備保守点検 ○夜間機械警備 ○自家用電気工作物保安管理 など
	未履行の有無	無			無
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	2,756		
		令和4年度	3,685		
		増 減	929		
実績の分析	○新型コロナウイルスの感染症の影響が全国的に落ち着きつつあり、利用者数は僅かではあるが回復した。				
利用促進に向けた新たな取組	○自然に関する知識を豊富に持つ者を職員として雇用し、入館者に対する展示物についての解説を強化した。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収 入	4,592,100	4,817,647	225,547	
	支 出	4,592,100	4,817,647	225,547	
	差引(収入-支出)	0	0	0	
	○新型コロナウイルス感染症の影響により、入館協力金については当初計画より減収となった。 ○光熱費の高騰により、大幅な支出減とはならなかった。				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)	○入館者へのアンケートでは、職員が行っている無料解説が好評を得ている。 ○自然観察会では、聞き取り調査を実施し、「また参加したい」など満足度の高い意見が多数を占めた。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○入館者誘致対策として下記の事項を実施し、来館者増に努めた。 ・来館者への無料解説の実施や角島の貝殻の無料配布などによる満足度の向上 ・ホームページや様々な媒体を利用した情報発信 ・自然観察会終了後の写真展の開催 ○施設老朽化に伴う修繕の実施については、計画的な修繕に努めた。			
	現状の課題	○入館者誘致対策 ○施設老朽化に伴う修繕対策			
	改善方策	○入館者誘致対策は、現状の取組を引き続き実施する。 ○施設老朽化に伴う修繕対策は、引き続き優先順位を検討しながら計画的に取り組む。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	8,000	8,000	8,000	8,000
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		秋吉台ビジターセンター				
指定管理者名		美祢市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運營業務		維持管理業務		
	業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然に関する資料等の収集及び展示に関すること</li> <li>○自然の観察の指導に関すること</li> <li>○自然保護思想の高揚のために必要な業務に関すること</li> <li>○開館日に開館し、又は臨時に閉館すること</li> <li>○開館時間を延長し、又は短縮すること</li> <li>○自然公園施設の利用を拒むこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然公園施設の施設及び設備の維持管理に関すること</li> </ul>		
	実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来館者に対する、模型等の展示物を活用した自然解説</li> <li>○自然環境学習会の開催（14回、533名）</li> <li>○動物・植物等の調査研究及び資料収集</li> <li>○秋吉台エコクラブの活動との連携</li> <li>○エコ通信の発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○夜間機械警備</li> <li>○浄化槽保守点検業務</li> <li>○消防設備保守点検</li> <li>○自家用電気工作物保守管理</li> <li>○館内清掃</li> <li>○施設・設備・備品保守点検</li> </ul>		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)		令和3年度	5,041	
				令和4年度	7,395	
				増 減	2,354	
		実績の分析		○新型コロナウイルス感染症による影響が緩和したため、利用者が増加した。		
利用促進に向けた新たな取組		○関係施設との連携を図り、積極的に各種活動に取り組んだ。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	5,108,000	4,917,387	△190,613	
		支 出	5,108,000	4,917,387	△190,613	
		差引(収入-支出)	0	0	0	
		○施設及び設備の老朽化により、維持管理費等の支出が年々増加している。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事等でアンケート調査を実施しており、おおむね良好な感想をいただいている。</li> <li>○アンケート結果は講師に提供し、次の行事等に反映させている。</li> </ul>				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○展示物、施設及び設備の保守について、可能な範囲で修繕等の対応を実施した。				
	現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シアタールームでの上映ができない</li> <li>○展示物、施設及び設備の老朽化</li> <li>○業務の効率化</li> </ul>				
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シアタールームの代わりにレクチャールームで映像を放映するなどの対応をしている。</li> <li>○展示物や設備等の老朽化については、応急的な処置をしつつ、抜本的な改修を検討する。</li> <li>○業務の効率化については、連絡調整を密にし、作業分化等により業務の効率化を図る。</li> </ul>				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	10,000	10,000	10,000	10,000
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	きらら浜自然観察公園				
指定管理者名	特定非営利活動法人野鳥やまぐち				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運營業務		維持管理業務	
	業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野生動植物との「ふれあいの機会の提供」、「観察の指導」及び「資料等の収集・展示」に関すること</li> <li>○自然保護についての県民の理解を深めるために必要な業務に関すること</li> <li>○開館日に開館し、又は臨時に閉館すること</li> <li>○開館時間を延長し、又は短縮すること</li> <li>○公益を害するおそれのあるときは、利用を拒むこと</li> </ul>		○公園の施設及び設備の維持管理に関すること	
	実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○干潟ふれあいゾーン・ミニ水族館エリアの拡大</li> <li>○バードウォッチング入門、子どもレンジャークラブ、水生生物・植物・昆虫等のきらら浜の自然を活かした観察会、夜の公園探検等の行事の開催</li> <li>○土日祝日の工作教室、紙芝居、ビデオ上映、こどもあそびの広場、レンジャーの自然に関するクイズ等の開催</li> <li>○渡り鳥飛来調査、干潟・園内生物調査(底生生物、昆虫等)、淡水魚等生物展示</li> <li>○春まつり、ふれあい祭りの開催</li> <li>○ホームページ、フェイスブック、YouTube、Instagram、テレビ・ラジオ出演による情報発信、公園だよりの発行等</li> <li>○ボランティア育成、指導者の派遣、調査事業の実施</li> <li>○夏休み期間及び正月の臨時開園</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○夜間機械警備</li> <li>○保守点検(浄化槽、消防用設備、自家用電気工作物、上水道・空調設備、水中ポンプ設備、海水導入水門)</li> <li>○その他の施設・設備・備品の保守点検・清掃・修繕</li> <li>○淡水池等の水質調査</li> <li>○ヨシ焼きによるヨシ原の保全</li> <li>○外来生物駆除</li> <li>○園内巡視</li> </ul>	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	15,137		
		令和4年度	16,024		
		増 減	887		
実績の分析	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行事の参加人数制限を一部緩和したことや、イベントやメニューを見直したことにより、入館者数が前年度より増加した。				
利用促進に向けた新たな取組	○令和3年度に新設した干潟ふれあいゾーン及びミニ水族館のエリア拡大や増設を行った。 ○新たな行事(ライトトラップで昆虫観察、水生昆虫観察会等)を開催した。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	50,751,000	52,205,974	1,454,974	
	支 出	50,751,000	53,671,879	2,920,879	
	差引(収入-支出)	0	△1,465,905	△1,465,905	
○施設老朽化に伴う修繕箇所が増加や光熱費の高騰により、当初想定より支出が増大した。					
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○利用者への聴取やアンケート結果により、おおむね満足との回答を得た。 ○生き物へのエサやりや開館時間、子どもが楽しめる工夫について提言があった。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○干潟ふれあいゾーン及びミニ水族館エリアの拡大や新たな行事の開催により、入館者の層が拡大した。 ○令和3年度に実施した空調・東屋のウッドデッキ・草地広場の東屋の柱の修繕やトイレの洋式化により、施設環境は大幅に改善された。			
	現状の課題	○リピーターの確保 ○大人向けメニューの充実化 ○施設の老朽化に伴う修繕費等の増加			
	改善方策	○幅広い年齢層向けの行事を開催して、様々な媒体でPRする。 ○補修箇所の早期発見や早期補修により、修繕費を抑える。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	20,000	20,000	20,000	20,000
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		健康づくりセンター				
指定管理者名		公益財団法人山口県健康福祉財団				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	貸館業務	施設維持管理業務	その他業務		
	業務内容	○多目的ホール・研修室等の利用申請、許可及び管理等に関すること	○設備の保守点検業務、屋内・屋外清掃、植栽維持管理に関すること	○窓口業務、センターホール展示スペースの運営、広告・宣伝、施設予約サービス運用等		
	実施状況	○協定内容を良好に履行している。	○協定内容を良好に履行している。	○協定内容を良好に履行している。		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	56,447		
			令和4年度	81,960		
			増減	25,513		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策として人数制限を継続したが、利用件数が前年度比2割増となり、利用者数はコロナ前の水準をやや下回る程度まで回復した。			
利用促進に向けた新たな取組		○快適な設備環境を実現するため、設備の保守点検・修繕と予防保全を実施 ○コロナ禍のもと、施設内消毒などの衛生管理を徹底				
収支結果		科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
		収入	46,402,000	52,010,955	5,608,955	
		支出	50,406,000	50,908,534	502,534	
		差引(収入－支出)	△4,004,000	1,102,421	5,106,421	
		○予算額及び決算額は、損益ベースで計上している。 ○収入増加要因は、新型コロナウイルス感染症状況の沈静化に伴う利用件数の増加によるもの(感染症及びエネルギー価格高騰のかけ増し経費に対する指定管理料追加分5,317千円を含む)。 ○支出増加要因は、主にエネルギー価格の高騰に伴う光熱費の増額によるもの。				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)		○令和5年1月～3月に施設利用者アンケート調査を実施し、満足度における「良い」評価は、「申請手続き」、「利用料金」、「施設設備」、「駐車場」の設問で70%台、「スタッフの対応」で80%台の評価を得た。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○計画的な施設設備の修繕 →老朽化による故障を解消するため、総合保健会館の監視カメラ装置録画・再生レコーダー更新工事、一般及び立体駐車場の外灯(ナトリウム灯)交換工事を実施。 →大量の雨漏りによる被害を防止するため、県の修繕事業として、総合保健会館の多目的ホール屋根の改修工事を実施。 ○利用の促進 →前年度と同様に、空室情報の積極的な提供、利用形態に応じた施設利用(オンライン形式等)の提案、感染症対策に留意した上で、安心安全な施設利用ができるよう利用者との調整を図るなど、利用者の立場に立った方策を行う。				
	現状の課題	○新型コロナウイルス感染症を契機とした利用形態の変化(小会議室の利用増)による収入の落ち込み ○エネルギー価格の高騰を原因とする光熱費の経費増大 ○施設・設備の老朽化による修繕箇所増加				
	改善方策	○Wi-Fi設備を活用したオンライン形式の会議等を推奨しつつ、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、健康づくりの交流拠点である強みを生かして人材研修や講習会等を積極的に受け入れる。 ○施設所管課との連携を強化し、経営状況について逐次報告・相談する。 ○施設・設備の状況等を踏まえた修繕計画(優先順位の策定)と予防保全を継続的に実施する。				
数値目標(利用者数)		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	103,000	103,000	103,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		聴覚障害者情報センター				
指定管理者名		社会福祉法人山口県聴覚障害者福祉協会				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	施設管理・運營業務	聴覚障害者用の録画物制作業務	相談支援業務		
	業務内容	○センター施設・設備の管理運営	○聴覚障害者用の録画物の制作及び利用	○聴覚障害者等に関する相談		
	実施状況	○施設の利用促進 ○各種点検・保守	○スタジオ・試写室等の活用(延べ利用者数209人)	○相談支援活動の充実(2,494件)		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	2,826		
			令和4年度	4,396		
			増減	1,570		
		実績の分析	○若年層手話通訳者養成モデル事業(厚労省受託事業)の新設に係る受講者や利用団体等の利用増などの影響が考えられる。			
利用促進に向けた新たな取組		○聴覚障害者関係団体以外の民間団体への利用促進 ○若年層手話通訳者養成モデル事業を踏まえた県内大学の手話サークルとの連携強化 ○民生委員協議会、企業等の施設見学や体験学習の充実化 ○意思疎通支援者養成研修の受講者増加に向けた市町行政担当者との連携強化				
収支結果		科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
		収入	24,559,000	24,559,000	0	
		支出	24,559,000	24,559,000	0	
		差引(収入-支出)	0	0	0	
		○効率的な管理運営と予算管理の徹底により、経費の節減等に努めた。				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)		○利用者(当事者、関係団体、講座受講生等)からセンター及びセンター事業についての意見をいただいております。おおむね良好な評価である。 ○センターやホームページに「ご意見箱」を設置し、利用者ニーズの把握に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○県市政広報番組への手話・字幕挿入による映像ライブラリー作品の充実化 ○意思疎通支援者の養成や派遣を重点とした市町行政担当者との連携強化 ○ホームページ、ブログの充実化 ○建設から20年以上経過した施設の適切な維持補修				
	現状の課題	○映像ライブラリー利用の低迷 ○利用者向けの施設内の無線LAN環境改善 ○建設から20年以上経過した施設・設備の計画的な更新 ○利便性の悪さ(公共交通機関機能が不十分)				
	改善方策	○県市政広報番組への手話・字幕挿入による映像ライブラリー作品の充実化 ○意思疎通支援者養成研修等の受講者増に向けた市町行政担当者や関係団体等との連携強化 ○関係団体、教育機関、自治体等への積極的な利用促進や施設体験学習の実施 ○施設設備等の老朽化に伴う安全・快適な施設利用の取組の実施				
数値目標(利用者数)		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	6,000	6,000	6,000	6,000
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	身体障害者福祉センター				
指定管理者名	公益社団法人山口県障害者スポーツ協会				
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務	
	業務内容	○運営業務（貸館業務等）		○施設及び設備の維持管理	
	実施状況	○身体障害者の機能訓練、社会交流、スポーツ及びレクリエーション活動の促進に向けて、施設の利用承認手続を適切に実施した。		○利用者の安心・安全を第一に、日常点検や計画的な更新により、適正な維持管理を実施した。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	6,010		
		令和4年度	8,707		
		増減	2,697		
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに、障害者団体の活動が徐々に再開されたことが利用者数の増加に繋がった。			
利用促進に向けた新たな取組	○利用者アンケート調査を実施し、利用者の意見も踏まえた施設改修を実施 ○障害者スポーツ競技団体代表者会議等で施設紹介資料を配付し、利用促進を要請 ○感染症対策を徹底した上で、夏季休暇期間中のプール開放を3年ぶりに実施				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	15,086,000	15,301,346	215,346	
	支出	15,086,000	15,457,234	371,234	
	差引(収入－支出)	0	△155,888	△155,888	
	○管理コストの縮減に努めたものの、電気料金の高騰や施設の老朽化に伴う維持管理費の負担により、収支は赤字となった。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○令和4年8月18日から9月30日の期間で利用者アンケート調査を実施した。 ○利用者の90.9%が「大変満足」・「満足」と回答し、おおむね高い評価が得られている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○利用促進に向けて、既存事業のPR促進と新規事業としてのゴールボール体験会を開催 ○感染症対策を徹底の上障害者施設等へ利用促進を図り、夏季休暇期間中のプール開放を実施（プール利用者数：延べ681名） ○屋外給水管漏水工事、プール更衣室棟のトイレ・シャワー水栓工事など、緊急性・利便性と利用者意見も踏まえた修繕工事を実施			
	現状の課題	○コロナ禍前水準までの利用者数回復 ○施設・設備の老朽化に対応した適切な維持管理と計画的な修繕			
	改善方策	○新規の自主事業による利用者開拓と関係団体との連携によるリピーターの定着により、利用促進を図る。 ○県所管課とも協議の上、緊急性や利便性を踏まえた修繕計画を策定し、施設・設備の計画的な更新に努める。			
数値目標 (利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	15,000	15,000	15,000	15,000
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	みほり学園			
指定管理者名	社会福祉法人山口県社会福祉事業団			
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務		施設・設備の管理業務
	業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心理治療や生活指導等を要する措置児童の保護に関すること</li> <li>○児童の心理治療、生活指導及び学習指導に関すること</li> <li>○児童の保護者に対する指導に関すること</li> <li>○児童の入退所に関すること</li> <li>○児童の記録に関すること</li> <li>○地域公益的活動に関すること</li> </ul>		○施設及び設備の維持管理に関すること
	実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童相談所と連携し、不登校を主訴とする児童に加え、地域・学校・家庭での適応が困難となった被虐待児や軽度発達障害児（学習障害や注意欠陥多動性障害等）、入院加療後地域へ帰ることを前提とした児童等を積極的に受け入れた。</li> <li>○令和4年度入所状況は、不登校児4.2%、被虐待児66%、軽度発達障害児70%であった。</li> <li>○新入所児がスムーズに学園生活に適応できるよう、入所前カンファレンスや、必要に応じて見学を実施するとともに、入所後には、個々に合わせてルールの確認をする等の対応を継続して実施した。</li> <li>○日々の生活をベースに、基本的生活習慣の定着や、集団活動を通じて協調性・自主性の養成に努め、中でも「認知機能強化トレーニング」、「認知作業トレーニング」等の継続的な取組により基礎学力や対人スキルの向上が図られ、効果を得ることができた。</li> <li>○施設内暴力やいじめ防止の取組として、学校と連携して定期的に聴き取り調査を実施し、安心・安全な生活の確保に努めるとともに、事案に応じて関係機関との連携に努めた。</li> <li>○リーディングケアの一環で、中学3年生を対象に買い物支援や「マナー講座」を実施した。</li> <li>○月2回の保護者会を通して児童の変容を伝えるとともに、面接相談を実施し、家族関係の改善を図った（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況によっては電話やリモート面会等で交流を図った）。</li> <li>○令和4年度は5名が退所し、そのうち中学3年生4名の退所児全員が高等学校に進学した。</li> <li>○「生活指導」、「心理療法」、「学校教育」のそれぞれの立場からアプローチを行う「総合環境療法」の充実に努め、嘱託医も参加するケース会議においては、支援目標の見直しや情報の共有を図った。</li> <li>○各種業務日誌や面接記録については、児童の様子や指導内容を具体的に記録した。</li> <li>○「退所児アフターフォロー」、「外来相談」等を通して、地域で悩みを抱える児童やその保護者からの相談を受け、必要に応じて面接を実施するなどの支援に繋げた。</li> <li>○毎年1人を目標に家族再統合に取り組み、令和4年度については3名と、目標人数を超えて達成することができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○車庫シャッターの電動化（令和4年4月）</li> <li>○NO.1 暖房用ボイラーの電子基板の改造工事（令和4年7月）</li> <li>○小浴室のユニットバス化（令和5年3月）</li> </ul>
	未履行の有無	無		無
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	8,474	
		令和4年度	7,966	
		増 減	△508	
	実績の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度は、初日在籍児童数20名でスタートし、入所6名に対し、退所は5名であった。</li> <li>○ここ数年、男子児童の相談が多く、女子児童は少ないため男女比率は男子の方が多くなっていたが、年度末に女子児童の相談も増え、退所児童が男子児童のみだったことから、男女比のバランスが取れてきている。</li> <li>○発達特性のある児童の割合が増えており、対応も多様化・個別化してきている。</li> </ul>		

<p>利用促進に向けた 新たな取組</p>	<p>○発達特性や基礎学力に有効とされる「認知作業トレーニング」や「認知機能強化トレーニング」を継続実施し、中間評価を入れて検証を行うとともに、特性や問題行動に応じた振り返りプログラムを検証・実施した。</p> <p>○リービングケアの一環として実施している「マナー教室」を継続するとともに、保護者との家庭的な関わりが難しい児童に対しては、家庭的な関わり方に関する個別支援の見直しを行っている。</p>			
<p>収 支 結 果</p>	<p>科 目</p>	<p>予算額 (円)</p>	<p>決算額 (円)</p>	<p>差 異 (円)</p>
	<p>収 入</p>	<p>192,167,000</p>	<p>191,149,708</p>	<p>△1,017,292</p>
	<p>支 出</p>	<p>192,167,000</p>	<p>191,149,708</p>	<p>△1,017,292</p>
	<p>差引 (収入－支出)</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>
	<p>○収支については、長期入所型の施設に比して不安定になりがちだが、入所児童が治療に専念できるような、安心して安全な生活を送ることのできる体制・環境づくりに努めるとともに、諸経費を節減する等、効率的な事業運営に努めた。</p>			
<p>サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)</p>	<p>○毎年、保護者に対し満足度調査を実施しているが、学園への大きな不満は無く、好意的な意見が見られるなど、評価はおおむね良好である。</p> <p>○毎年、法人実施要領に基づいて自己評価、利用者満足度調査を実施しており、調査結果等を踏まえてサービスに係るマニュアル等の見直しを行い、周知を図った。</p>			
<p>課題と改善 方策等</p>	<p>前年度までの 改善方策に対 する取組状況</p>	<p>○精神科医の助言に基づき、ロールプレイやソーシャルスキルトレーニングによる指導・援助を継続実施した。</p> <p>○「認知作業トレーニング」、「認知機能強化トレーニング」については継続実施することにより効果も得ている。</p> <p>○新入所児については、児童相談所と事前のカンファレンスを行うなどして情報共有を図り、入所時には個別対応の期間を設ける等、早く施設に慣れ、安心して生活を送ることができるよう努めるとともに、児童の共通理解を深めるため、各担当者で情報の共有に努めた。</p> <p>○性的な暴力を含む施設内虐待を防止し、安全・安心な生活、学習環境を保証するため、学校と合同で児童からの個別の聴き取り調査(安心安全チェックタイム)を3回実施するとともに、学園で1回、学校の教育相談で1回の聴き取りも実施した。</p> <p>○性的な問題については、児童相談所、こども家庭課等関係機関と協働で対応し、再発防止に努めた。</p> <p>○虐待防止の推進を図るため、組織的な体制整備を行うとともに、研修や委員会を開催し、マニュアルの見直しと周知を図った。</p> <p>○問題行動に対して、効果的な振り返りができるよう、取組を検証・実施した。</p> <p>○退所後、措置変更先の施設や家庭で不適応を起こしている児童と家族に対して、相談・面接等を実施し、効果も得ている。</p> <p>○中学3年生や退所予定児童、一時帰省できない児童を対象に、リービングケアを継続実施した(公共交通機関の利用方法、買い物指導、公共施設の利用等、社会生活に必要な支援)。</p> <p>○中学生を対象に「マナー教室」を計画的に実施し、マナーや社会性を学ぶ機会とした。</p> <p>○保護者との家庭的な関わりが難しい児童に対して、家庭的な関わりを持つ個別支援の見直しを行い、児童の希望を取り入れた支援を行った。</p> <p>○地域で、不登校や困り感を抱える児童やその家族からの相談を受け、面接を実施するなど、適切な支援を行った。</p>		



<p>現状の課題</p>	<p>○令和4年度は、性暴力を含む施設内虐待やいじめ防止に向けて、個別の聴き取り調査を実施することにより一定の成果を収めているが、聴き取る職員がポイントを把握し児童の気持ちを引き出せるよう、関わり方を改善することや、日頃の関わりから早期に児童の異変に気づき、速やかに対応できるよう、意識して支援することが必要である。</p> <p>○退所後、児童養護施設へ措置変更されるケースが増加しており、リービングケアを含めたスムーズな移行支援を継続する取組が必要であるとともに、退所した後に児童・保護者からの相談も多いことから、更なるアフターフォローの充実が必要である。</p> <p>○発達特性のある児童の増加に伴い、精神科医による精神医学研修や、ケースアドバイスに基づく個別支援プログラムの充実に努めてきたところであるが、よりきめ細やかに対応することや、集団指導技法やSST、家族再統合プログラム、認知作業トレーニング等各種指導技法についても継続的に見直しを行い、支援方法を改充することが必要である。</p> <p>○入所相談等において、当園が求められるニーズが多様化しており、特に発達特性のある児童が増えている現状から、環境面の配慮や児童の個別性に着目した対応が強く求められているため、施設職員の専門性等の向上に加え、老朽化した施設設備等のハード上の問題を早急に改善する必要がある。</p> <p>○外部からの見学等を通して、施設機能の理解を深めてもらえる取組の検討が必要である。</p>				
<p>改善方策</p>	<p>○性暴力を含む施設内虐待防止のため、個別の児童からの聴き取り調査やアンケート調査を実施し、また、学校が実施する教育相談の活用等、学校との情報共有による連携強化に努めるとともに、虐待防止委員会において、事例の検証や防止に向けた具体的対策の検討を行う。</p> <p>○児童養護施設等への移行が必要な場合には、スムーズな移行に繋がるよう、継続してリービングケアに取り組み、特に中学3年生については、卒業に向けて早い段階でリービングケアを行うようプログラムを計画し、「マナー教室」などを実施する。</p> <p>○退所した児童に対するアフターフォローについては、関係機関と連携のもと継続的に実施する。</p> <p>○発達特性のある児童に対する「認知作業トレーニング」については、嘱託医の助言に基づき継続して実施するとともに、「認知機能強化トレーニング」については、引き続き対象児童を絞り込んで取組み、中間評価も行う。</p> <p>○被虐待児に対する支援として「トラウマケア」の専門的知識の習得に取り組む。</p> <p>○児童相談所と連携し、児童が抱える個別のニーズを的確に把握した対応に努めるとともに、施設職員の資質の向上に努める。</p> <p>○老朽化した施設については、小修繕など適切な補修を行うとともに、大規模な改修等については、県へ状況を丁寧に説明し早急な改善に努める。</p> <p>○外部からの研修依頼や見学等を積極的に受け、施設の機能をアピールしていく。</p>				
<p>数値目標 (利用者数)</p>	<p>年 度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>
	<p>目標値 (人/月)</p>	<p>30</p>	<p>30</p>	<p>30</p>	<p>30</p>
<p>労働条件・環境</p>	<p>■適 □否</p>	<p>否の場合の内容と対応</p>			

指定管理施設名	母子・父子福祉センター				
指定管理者名	一般財団法人山口県母子寡婦福祉連合会				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務	その他県委託事業
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に係る各種相談</li> <li>○母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の生活指導及び生業の指導</li> <li>○その他母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の福祉のための便宜供与</li> <li>○山口県母子・父子福祉センターの開館及び閉館</li> <li>○条例又は規則に違反したときや指示に従わないときの利用の制限</li> </ul>		○施設及び設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子家庭等就業・自立支援センター事業</li> <li>○ひとり親家庭等生活向上事業</li> <li>○ひとり親家庭等日常生活支援事業</li> <li>○子ども夢応援大学等受験料補助事業</li> </ul>
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月第3日曜日相談、平日時間外相談、オンライン相談の実施等による相談体制の強化</li> <li>○相談関係機関、母子・父子自立支援員等との連携を密にし、業務の推進に努力</li> <li>○利用者の増加を図るため、施設、事業の周知等を拡充</li> </ul>		○計画的に施設・設備の維持管理を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巡回相談、求人情報等の提供、就業の斡旋（無料職業紹介事業）などを実施</li> <li>○一時的に子育てや生活支援が必要な家庭に家庭生活支援員を派遣</li> </ul>
	未履行の有無	無		無	無
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	635		
		令和4年度	957		
		増減	322		
	実績の分析	○新たに受託した事業を活用した情報発信等の結果、利用者数が増加した			
利用促進に向けた新たな取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自宅や外出先などから相談できるよう、オンラインでの相談を実施</li> <li>○24時間視聴可能な講座を期間限定でオンライン動画配信により実施</li> <li>○新たに受託した事業を活用し、支援を必要とするひとり親家庭の父母に対する情報発信・業務内容の周知を実施</li> </ul>				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	9,274,000	9,274,000	0	
	支出	9,274,000	9,274,000	0	
	差引(収入－支出)	0	0	0	
○効率的な管理運営と予算管理の徹底により、経費の節減等に努めた					
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)	○意見箱を設置して相談者向けのアンケート調査を実施しており、相談員の対応等について、大多数の者が「とても満足・満足」と回答				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種チラシにSNSのQRコードを掲載するなど、SNSを活用した情報発信・情報提供を実施</li> <li>○パンフレットやカード型案内を市町・健康福祉センター等に配布</li> <li>○会議等においてパンフレットによる業務の周知を実施</li> <li>○ハローワークや市町と連携し、出張相談を実施</li> <li>○窓口のチラシの配置方法を利用者目線に合うよう工夫</li> </ul>			
	現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援等を必要とするひとり親家庭等の父母に対する利用促進</li> <li>○利用者に必要な情報や効果的な情報を提供するため、SNSの登録者数を増加</li> <li>○相談者の利便性の向上のため、様々な相談方法への対応</li> <li>○利用しやすい施設・設備の維持管理</li> </ul>			
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な機会を利用し、業務内容等や提供情報等の周知を行い、利用促進を図る。</li> <li>○ハローワークや市町と連携し、求人情報等の提供や出張相談等、きめ細やかな支援を行う。</li> <li>○休日相談、時間外相談、オンラインによる事前相談予約や相談を行う。</li> <li>○アンケートの実施等により、利用しやすい環境整備を行う。</li> </ul>			
数値目標(利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	800	800	800	800
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	国際総合センター				
指定管理者名	一般財団法人山口県国際総合センター				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	施設運営業務	利用促進業務	維持管理業務	
	業 務 内 容	○施設等の使用に関する業務	○施設等の利用促進に関する業務	○施設等の維持管理に関する業務	
	実 施 状 況	○各施設の使用に関して予約受付から料金精算までの流れをスムーズに行うとともに、利用者ニーズに応じたきめ細やかなサービスの提供を行った。	○新規顧客の開拓等のコンベンション誘致活動や、各種イベントの企画立案・実施により、施設の利用促進に向けた積極的な取組を行った。	○施設管理担当者を配置し、効率的かつ適切な維持管理を行うとともに、経済的かつ施設利用者の安全安心に留意した維持管理業務を行った。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績 (コンベンション)	稼働率 (%)	区 分	令和3年度	令和4年度	増減
		展示見本市会場	47.1	77.4	30.3
		イベントホール	30.3	30.2	△0.1
		国際会議場	18.3	23.2	4.9
		海峡ホール	17.1	22.3	5.2
		会議室	44.9	52.0	7.1
		平均稼働率	38.2	46.5	8.3
	実績の分析	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響による休館なし。 (休館日数 令和2年度：51日間 / 令和3年度：31日間)</p> <p>○展示見本市会場・イベントホールの稼働率は、ワクチン接種会場としての利用等からコロナ禍前(平成28年度～平成30年度の平均)を上回った。</p> <p>○その他の貸会場についてもコロナ禍前の稼働率に近付いている。</p>			
施設利用実績 (タワー)	利用者数 (人)	令和3年度	38,687		
		令和4年度	68,279		
		増 減	29,592		
	実績の分析	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響による休館なし。 (休館日数 令和2年度：51日間 / 令和3年度：63日間)</p> <p>○上半期はコロナ禍前の7割程度の入場者数で推移し、下半期はコロナ禍前と同程度、令和5年2月・3月はコロナ禍前を上回る入場者数となった。</p>			
利用促進に向けた新たな取組	<p>【コンベンション】</p> <p>○日本コンベンションサービス株式会社との「MICEアドバイザー契約」により、コンベンション誘致に関する施設の現状把握とコロナ禍後の誘致計画の策定を行った。</p> <p>【タワー】</p> <p>○新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、「階段のぼり」等の誘客イベントの実施や、JR西日本が実施する大型キャンペーン事業「名探偵コナンミステリーツアー」への参画、イメージキャラクター「ゆめたん」の新たなオリジナル・グッズの商品化・販売を行うことでタワーPRに努めた。</p>				

		科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	差 異 (円)		
収 支 結 果		収 入	370,759,000	370,454,076	△304,924		
		事業活動収入	367,483,000	367,178,076	△304,924		
		(コンベンション)	75,900,000	75,808,478	△91,522		
		(タワー)	30,807,000	34,360,409	3,553,409		
		(駐車場)	9,048,000	8,879,775	△168,225		
		(指定管理料)	207,963,000	204,624,000	△3,339,000		
		(その他)	43,765,000	43,505,414	△259,586		
		投資活動収入	3,276,000	3,276,000	0		
		支 出	370,759,000	370,454,076	△304,924		
		事業活動支出	361,175,000	352,698,782	△8,476,218		
		投資活動支出	9,548,000	17,719,794	8,171,794		
		法人税等	36,000	35,500	△500		
		差引 (収入－支出)	0	0	0		
		○ワクチン接種会場としての長期的な利用や、コロナ禍からの回復基調から、前年度と比較すると、約 1.5 倍の利用料収入増となった。 ○今期の指定管理事業の安定的な経営を目途に、特定資産への積立を実施した。					
		サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○コロナ禍において、費用対効果を鑑み、実施は見送った。			
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<b>【コンベンション】</b> ○「ウェブ会議」や「ハイブリット会議」に対応するため、貸会場専用のインターネット回線等の貸出を開始し、新規顧客の開拓やリピーターの継続的な利用に繋がった。(令和4年度利用実績：157件) <b>【タワー】</b> ○コロナ禍の影響から中断していた関釜フェリーの旅客運送再開に併せ、韓国人観光客の動向について情報収集を行うとともに、今後予定されている海外からのクルーズ船の再開時期や規模等について情報収集を行った。					
	現状の課題	<b>【コンベンション・タワー】</b> ○施設の稼働率及びタワー入場者数の回復 ○経年劣化による修繕費が増加傾向にある中での、適切な施設の維持管理及び運営					
	改善方策	<b>【コンベンション】</b> ○各会場の仕様・備品等を紹介するページの新設など、ホームページの充実を図る。 <b>【タワー】</b> ○季節イベントを企画・実施するとともに、SNSを活用するなど、幅広い世代に対して広報活動を行うことにより、入場者増に努める。					
数 値 目 標		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
コンベンション稼働率 (%)		展示見本市	32.6	33.0	33.2		
		イベントホール	28.1	28.5	28.8		
		国際会議場	31.8	32.1	32.4		
		海峡ホール	30.4	30.7	31.0		
		8階会議室	66.6	67.2	67.8		
		その他	15.4	15.5	15.6		
タワー入場者数 (人)			89,283	94,642	100,000		
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応				

指定管理施設名	山口しごとセンター				
指定管理者名	株式会社日本マンパワー				
指 定 期 間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	山口しごとセンターの管理			
	業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○センターホームページ及び就職支援システムの管理・運営と広報</li> <li>○キャリアカウンセリング等の実施</li> <li>○U J I ターン就職促進事業</li> <li>○地域若者サポートステーションとの連携</li> <li>○ジョブカフェ相互の連携</li> <li>○県内企業への就職・定着の促進</li> <li>○東京圏からの移住・就業の促進</li> <li>○女性・シニアの新規就業の促進及び企業の人材確保支援</li> <li>○山口就職情報アプリの活用促進</li> <li>○国・県の雇用対策関連事業等との連携・相乗効果の発揮</li> </ul>			
	実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページや就職情報アプリ等を活用して、各種就職情報を発信</li> <li>○センター、大学・県民局等において、若者・女性・シニアを対象としたカウンセリングや就職支援セミナー等を実施</li> <li>○若者や保護者と県内企業との出会いの場を創出し、県内企業への就職・定着を促進する取組を実施</li> <li>○センター・東京・大阪の窓口において、U J I ターン相談、情報提供、職業紹介等を実施</li> <li>○国・県等の雇用対策関連事業及び他機関と連携した就職フェアなど、各種事業を実施</li> </ul>			
	未履行の有無	無			
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	49,309		
		令和4年度	50,108		
	実績の分析	増 減	799		
		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は続いたものの、オンライン化の一環としてセンターホームページに開設した「会社説明会動画」の視聴や学生の学内企業セミナーへの参加が好調だったことなどにより、利用者数は前年度実績、目標共に上回ることができた。			
利用促進に向けた新たな取組	○就職活動を開始する学生や県外在住のU J I ターン希望者等を対象に、センターのキャリアカウンセラーが、「就職活動の進め方」、「押さえておきたい就活のマナー」、「山口で就職するために」などをテーマに独自で制作したミニセミナー動画をホームページ上で配信(YouTube)し、利用促進を図った。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	179,299,831	179,128,482	△171,349	
収 支 結 果	支 出	179,299,831	176,889,465	△2,410,366	
	差引(収入-支出)	0	2,239,017	2,239,017	
		○収入は、前年度までの剰余金及び令和4年度指定管理料。 ○支出について、広報活動の強化に伴い広報費は増加したが、カウンセラーの交代等に伴う人件費の減少や維持・管理コストの削減により全体の額は減少し、次年度への繰越剰余金は、2,239,017円となった。			
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○提供する就職支援サービスの利用者満足度調査(CS調査)を実施した。 ○前年度、移転に伴う調査項目・内容の大幅見直しを行ったため、過去と単純比較はできないが、施設・運営・カウンセリング・セミナーの項目において、100点満点中90点を超える高い評価を得た。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○学生に対し自己PR動画作成のセミナーを開催するなど、採用活動等においてデジタル化が進んでいる状況に応じた対策を講じた。 ○県内企業の人手不足に対応すべく、現在働いていない子育て女性等に対し、県内子育て支援拠点におけるミニセミナーの開催を強化し、多様な働き方の支援につなげた。			
	現状の課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響が続いたことにより、新規登録者・就職決定者が伸び悩んでいることから、特に県内就職率を上げるために大学等における登録者を増やすことが課題である。			
	改善方策	○県内大学等への出張相談等を強化し、新規登録者の増加及び就職決定者の把握に努める。 ○就職支援協定校を中心に県出身者の多い大学等との連携を強化し、U J I ターン促進を図る。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	42,000	42,500	-	-
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	下関武道館				
指定管理者名	ミズノグループ				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	施設管理業務		企画運営業務	
	業務内容	○窓口業務 ○清掃業務 ○維持管理業務 ○植栽管理業務 ○施設・設備維持管理業務 ○日常点検業務 ○備品管理業務		○自主企画業務（バドミントン教室等）	
	実施状況	○適切に実施した。		○適切に実施した。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数（人）	令和3年度	99,792		
		令和4年度	59,421		
		増減	△40,371		
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の影響で一部大会が中止となり、開催された大会も人数制限をしながらの実施となったことに加え、今年度はワクチン接種会場としての利用がなかったことが大きく影響し、利用者が減少した（昨年度のワクチン接種利用者数：45,000人）。 ○一方で、一般利用者は4,629人増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止となった事業がありつつも、下関球場と連携を行い、施設利用の促進を図った。				
収支結果	科目	予算額（円）	決算額（円）	差異（円）	
	収入	77,693,000	82,888,537	5,195,537	
	支出	77,693,000	85,215,201	7,522,201	
	差引（収入－支出）	0	△2,326,664	△2,326,664	
	○収入については、新型コロナウイルス感染症及び電気代等高騰に係るかかり増し経費としての追加の指定管理料もあり、予算を大きく上回った。 ○支出については、電気代等高騰及び施設の老朽化に伴う修繕費の増等により、予算を大きく上回った。				
サービスの質の評価（利用者満足度調査結果等）	○利用者アンケートで「施設がきれいにされている」、「スタッフからの声掛けがある」など、良い評価を頂いている。 ○施設アンケートではおすすめ度7.3（最高10）との評価を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○HPやSNSを利用し、大会情報や当日の空き状況を案内 ○武道以外のレクリエーションや運動会などを案内			
	現状の課題	○トレーニングルームの利用稼働率の上昇 ○利用促進のための施設の認知度向上			
	改善方策	○HPやSNSを活用した広報や、HP以外での広告を行う。 ○HP等の案内内容を利用者に分かりやすい内容に見直す。			
数値目標（利用者数）	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値（人）	63,000	75,000	89,000	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		スポーツ交流村				
指定管理者名		公益財団法人山口県ひとつづくり財団				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営に関する業務		使用に関する業務	維持管理に関する業務	
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業（トレーニングルーム・ヨットハーバー）</li> <li>○企画事業</li> <li>○その他（急病・救急時の対応等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用申請の受付・許可</li> <li>○利用料金の徴収</li> <li>○食事などの必要なサービスの提供</li> <li>○事業にかかる広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物・設備機器保守管理</li> <li>○清掃、廃棄物処理</li> <li>○物品管理</li> <li>○保安警備</li> <li>○外溝・植木管理</li> <li>○環境衛生管理</li> </ul>	
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業は事業計画書どおり実施した。</li> <li>○企画事業は積極的に実施した。</li> <li>○急病・救急時の対応等の強化を図った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用申請の受付、許可、利用料金の徴収を適正に行った。</li> <li>○施設、実施事業についてホームページで積極的に情報発信を行うとともに、自主企画事業については、情報誌に掲載してPRを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要に応じて業務委託を行うとともに、職員で分担して適正な維持管理に努めた。</li> </ul>	
	未履行の有無	無		無	無	
施設利用実績		利用者数（人）	令和3年度		77,072	
			令和4年度		102,255	
			増 減		25,183	
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症に係る制限等が緩和され、宿泊室やプールの利用者が増加したこと、体育館の改修工事による使用中止が無かったことを主因として、全体の利用者数は対前年度比で25,183人の増加となった。			
利用促進に向けた新たな取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種スポーツ教室において、新たに「アンチエイジングスクール」を実施した。</li> <li>○中型艇を購入し、宿泊体験学習の拡充や障害者へのマリンスポーツの提供を充実させた。</li> <li>○由宇青少年自然の家との共催事業として、小学生にマリンスポーツの醍醐味や海の自然に触れ合う機会を提供する「夏休みマリンスポーツ体験」を実施した。</li> <li>○県体育協会や光市等と共同開催している「HIKARI MARINE CUP」（セーリング大会）において、ウインドサーフィンの全国大会を誘致して開催した。</li> <li>○部活動向けに利用プランを案内する「Stay &amp; Sports」を、県東部の全中学校及び県内全ての高校・大学等に配付し、利用促進を図った。</li> </ul>				
収 支 結 果		科 目	予算額（円）	決算額（円）	差 異（円）	
		収 入	129,620,000	143,629,213	14,009,213	
		支 出	129,620,000	145,956,056	16,336,056	
		差引(収入-支出)	0	△2,326,843	△2,326,843	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症及び電気代等高騰に係るかかり増し経費としての指定管理料の追加もあり、収入が予算を上回った。</li> <li>○世界情勢を受けての光熱費の増加や、施設の老朽化に伴う修繕等により、支出は予算を大きく上回り、収支についてもマイナスとなった。</li> </ul>				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○宿泊者に対してアンケート調査を行った結果、手続き面では5段階評価で4.9、接遇面では4.9、施設面では4.6の評価をいただき、コメント欄においても、提供した企画プログラムに対する高評価のコメントが多数寄せられていた。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国や県の方針に沿って新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、感染拡大防止に努めた。</li> <li>○安全管理体制については、火災時の避難訓練、救急救命、利用者が怪我をした場合の対応など職員研修を実施した。</li> <li>○企画事業や宿泊を伴う施設予約の受付にオンラインシステムを導入し、利用者の利便性を図った。</li> </ul>				
	現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化した施設及び設備の改修等</li> <li>○リピーターの確保と新規利用者の開拓による、新型コロナウイルス感染症により減少した利用者の回復</li> <li>○新型コロナウイルス感染症に係る制限等の緩和に伴う、施設利用規定の見直し</li> </ul>				
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収益の増加及び経費節減による施設の修繕及び設備改修等に対応する。</li> <li>○企画事業等の更なる運営改善を図り、利用者のニーズに対応する。</li> <li>○デジタル化など、感染症対策で得たノウハウを活かした利用規定の改善を行う。</li> </ul>				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値（人）	109,000	114,000	118,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		美術館			
指定管理者名		サントリーパブリシティサービスグループ			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	企画運営業務	施設使用許可業務	施設設備維持管理業務	
	業 務 内 容	○美術品等の展示に付帯する業務 ○美術その他の芸術に関する講演会等開催業務 ○美術その他の芸術に関する生涯学習支援業務 ○その他文化振興に必要な業務	○展示室・講座室の使用許可等に関する業務	○施設設備の維持管理に関する業務	
	実 施 状 況	○企画運営業務が適切に行われた。	○使用許可業務が適切に行われた（6件）。	○施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数（人）	令和3年度	102,932		
		令和4年度	124,885		
		増 減	21,953		
	実績の分析	○「庵野秀明展」など集客力のある企画展の開催により県内外からの来館者が増加し、前年度を上回った。			
利用促進に向けた新たな取組	○公式ツイッター及びインスタグラムへの投稿によるタイムリーかつ幅広い層への情報発信 ○近隣商業施設における美術館広報活動の実施 ○萩美術館・浦上記念館とシンフォニア岩国との連携によるスタンプラリーの実施				
収 支 結 果	科 目	予算額（円）	決算額（円）	差 異（円）	
	収 入	131,664,000	141,872,012	10,208,012	
	支 出	131,664,000	142,618,247	10,954,247	
	差引(収入－支出)	0	△746,235	△746,235	
	○収入は、光熱費等高騰に係る追加の指定管理料の支払いにより増加 ○支出は、光熱費等の高騰により増加				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○来場者アンケートにおける満足度は高く、適切なサービスの提供が行われたと評価できる。 (利用者満足度 [評価：普通以上] 98.7%)				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○公式ツイッター及びインスタグラムへの積極的な投稿による情報発信力の強化 ○日時指定のチケット販売や入館導線の整備等、3密を避けたオペレーションの実施による安心・安全な施設運営			
	現状の課題	○コロナ禍で離れた従来の美術館ファンの再定着と、新たな美術館ファンの獲得 ○幅広い世代の顧客層への情報発信方策の検討			
	改善方策	○引き続き感染対策を実施しながら様々なイベントを開催し、新たな取組で美術館への集客を図る。 ○顧客の世代に応じた有効な情報発信手段を選択する。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値（人）	192,000	196,000	198,000	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			



指定管理施設名		萩美術館・浦上記念館				
指定管理者名		サントリーパブリシティサービスグループ				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	企画運営業務	施設使用許可業務	施設設備維持管理業務		
	業 務 内 容	○美術品等の展示に付帯する業務 ○美術その他の芸術に関する講演会等開催業務 ○美術その他の芸術に関する生涯学習支援業務 ○その他文化振興に必要な業務	○展示室・講座室の使用許可等に関する業務	○施設設備の維持管理に関する業務		
	実 施 状 況	○企画運営業務が適切に行われた。	○使用許可業務が適切に行われた（10件）。	○施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数（人）	令和3年度	32,422		
			令和4年度	28,666		
			増 減	△3,756		
		実績の分析	○コロナ禍の影響が続き、県外からの観光客も戻らないこともあり、入館者数は前年度を下回った。			
利用促進に向けた新たな取組		○オンラインプレスリリースシステムの導入による展覧会やイベントの情報発信の強化 ○シンフォニア岩国におけるイベント参加による美術館広報活動の実施 ○県立美術館とシンフォニア岩国との連携によるスタンプラリーの実施				
収 支 結 果		科 目	予算額（円）	決算額（円）	差 異（円）	
		収 入	181,983,000	196,089,689	14,106,689	
		支 出	181,983,000	194,564,369	12,581,369	
		差引（収入－支出）	0	1,525,320	1,525,320	
		○収入は、光熱費等高騰に係る追加の指定管理料の支払いにより増加 ○支出は、光熱費等の高騰により増加				
サービスの質の評価 （利用者満足度調査結果等）		○来場者アンケートにおける満足度は高く、適切なサービスの提供が行われたと評価できる。 （利用者満足度〔評価：普通以上〕100%）				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○公式ツイッター及びインスタグラムへの積極的な投稿による情報発信力の強化 ○イベントのWEB予約システムの活用やシンフォニア岩国と結んだオンライン特別対談の実施などによる、デジタルツールの活用				
	現状の課題	○コロナ禍で離れた従来の美術館ファンの再定着と、新たな美術館ファンや国内外からの観光客の取込み ○幅広い世代の顧客層への情報発信方策の検討				
	改善方策	○引き続き感染対策を実施しながら様々なイベントを開催し、新たな取組で美術館への集客を図るとともに、旅行代理店等への働きかけを実施する。 ○顧客の世代に応じた有効な情報発信手段を選択する。				
数 値 目 標 （利用者数）		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値（人）	62,000	64,000	66,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		県民文化ホールいわくに				
指定管理者名		サントリーパブリシティサービスグループ				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	文化事業に関する業務	施設使用許可業務	施設設備維持管理業務		
	業 務 内 容	○文化活動その他学校活動の機会の提供に関する業務 ○文化活動その他学習活動に関する情報及び資料の収集並びに提供に関する業務 ○その他、文化の振興を図るために必要な業務	○施設の使用の許可に関する業務	○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○その他、県民文化ホールを管理するために必要な業務		
	実 施 状 況	○文化事業が実施され、一流の芸術作品等の提供等が行われた。	○施設使用許可業務が適切に行われた（1,208件）。	○施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数（人）	令和3年度	111,978		
			令和4年度	124,606		
			増 減	12,628		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の影響は依然あるものの、県大会レベルの大規模利用やコンサートホールでの祭事等、集客力の高い利用が戻りつつある。			
利用促進に向けた新たな取組		○令和3年度末より有料会員からメールアドレス情報を収集しており、令和4年度は有料会員と無料会員（ネット会員）へ会員継続受付やチケット発売についての情報を掲載したダイレクトメールの送付を開始した。 ○令和2年度から進め、令和3年度に工事が完了した館内LAN回線の貸出を本格的に始動した。				
収 支 結 果		科 目	予算額（円）	決算額（円）	差 異（円）	
		収 入	293,127,000	301,569,022	8,442,022	
		支 出	293,127,000	302,278,923	9,151,923	
		差引(収入－支出)	0	△709,901	△709,901	
		○収入は、新型コロナウイルス感染症及び光熱費等高騰に係る追加の指定管理料の支払いにより増加 ○支出は、光熱費高騰等により増加				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○利用者（来場者）アンケートを実施 ○満足度は、文化事業 97.0%、貸館事業 90.1% ○ホスピタリティ面や公演の企画内容で高い評価				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特定の文化事業において、学生等の若年層にも購入しやすいよう、座種を複数設定した。 ○コロナ禍で活動を自粛されていた利用者へ応援する取組として、練習室①②、リハーサル室、和室について、1時間分お得に利用できる回数券を、期間限定で限定50セット販売した。				
	現状の課題	○従来の貸館の利用者や鑑賞に来場されていた方が、コロナ禍で足が遠のいてしまっており、それが継続している。				
	改善方策	○利用者や団体に対し、効率的かつ効果的な情報発信を実施する。 ○新たな利用者となりうる若い世代の来場促進のため、引き続き、学生料金の設定や子育て応援割引等のサービスを充実させる。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値（人）	230,000	230,000	230,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	秋吉台国際芸術村				
指定管理者名	公益財団法人山口きらめき財団				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	文化事業に関する業務	施設使用許可業務	施設設備維持管理業務	
	業務内容	○芸術に関する創作的活動の機会の提供に関する業務 ○芸術に関する講習業務 ○芸術に関する情報・資料の収集及び提供に関する業務 ○芸術に係る人材育成及び交流促進に資するために必要な業務	○施設の使用の許可に関する業務	○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○その他、芸術村を管理するために必要な業務	
	実施状況	○各種文化事業が実施され、幅広い芸術分野の創作・表現活動や人材育成、地域交流の各事業が行われた。	○施設使用許可業務が適切に行われた（784件）。	○施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数（人）	令和3年度	16,997		
		令和4年度	21,760		
		増減	4,763		
	実績の分析	○前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大対策を徹底した上で主催事業や貸館業務を実施した結果、施設利用者数は令和3年度より28.0%増の21,760人となり、コロナ禍前の水準の75%程度に回復した。			
利用促進に向けた新たな取組	○新規事業の充実（落語村、映画村など新たなジャンルの採用等） ○アウトリーチ事業の拡充（対象地域を拡大し、県内施設等と連携）				
収支結果	科目	予算額（円）	決算額（円）	差異（円）	
	収入	212,915,000	230,050,762	17,135,762	
	支出	212,915,000	238,033,357	25,118,357	
	差引（収入－支出）	0	△7,982,595	△7,982,595	
	○収入は、新型コロナウイルス感染症及び光熱費等高騰に係る追加の指定管理料の支払いにより増加 ○支出は、光熱費高騰等により増加				
サービスの質の評価（利用者満足度調査結果等）	○利用者（来場者）アンケート調査を実施 ○満足度は、文化事業90.1%、貸館事業97.6%				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○落語村や音楽教室の開催など、アウトリーチ事業を拡充（実施件数の増加、対象地域の拡大） ○監視カメラの改修や街灯のLED化など、計画的な修繕・補修を実施			
	現状の課題	○コロナ禍で低迷した施設や事業の認知度向上や、集客方策の検討 ○施設設備の老朽化・経年劣化への対応			
	改善方策	○広報活動・情報発信の積極的な展開 ○計画的な修繕・補修による利用者満足度の向上			
数値目標（利用者数）	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値（人）	33,700	35,700	37,700	40,700
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		県民芸術文化ホールながと				
指定管理者名		公益財団法人長門市文化振興財団				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	文化事業に関する業務	施設使用許可業務		施設設備維持管理業務	
	業務内容	○芸術活動その他文化活動の機会の提供に関する業務 ○芸術活動その他の文化活動に関する情報及び資料の収集並びに提供に関する業務 ○その他、伝統的な芸能その他の芸術の振興を図るために必要な業務	○施設の使用の許可に関する業務		○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○その他、県民芸術文化ホールながとを管理するために必要な業務	
	実施状況	○伝統的芸能の上演や地域文化団体等の活動などの文化事業を実施した。	○施設使用許可業務が適切に行われた(1,277件)。		○施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。	
	未履行の有無	無	無		無	
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	25,549		
			令和4年度	39,942		
			増減	14,393		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症対策を講じながら適切に事業を実施し、利用者数の大幅増加を図ることができ、コロナ禍前の水準に近付きつつある。			
利用促進に向けた新たな取組		○ホームページから施設空き状況確認ができるよう、「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」にジャンプするバナーを設置 ○窓口でのキャッシュレス決済導入				
収支結果		科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
		収入	194,383,000	204,884,850	10,501,850	
		支出	194,383,000	202,588,996	8,205,996	
		差引(収入-支出)	0	2,295,854	2,295,854	
		○収入：補助金、施設使用料金等の増加に伴い増加 ○支出：光熱費の高騰、諸謝金の増加に伴い増加				
サービスの質の評価(利用者満足度調査結果等)		○多彩なジャンルの文化事業の実施が評価されており、「文化事業」の満足度が97.9%となっている(前年度比+0.7ポイント)。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○利用者数・入場料収入の増加及び入場者満足度向上のため、積極的な補助金の活用や他団体との協働開催による良質な事業の継続に努めた。 ○新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、貸館事業において、定期利用団体による利用の回復や、新規利用団体の増加を図った。				
	現状の課題	○コロナ禍の影響で減少した文化事業鑑賞・貸館事業利用者の回復				
	改善方策	○補助金の獲得や関係団体等との協働・連携による、ニーズに即した良質な事業の実施 ○SNSやメールマガジン等の活用による情報発信の強化とコスト削減の両立				
数値目標(利用者数)		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	75,000	75,000	75,000	75,000
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	埋蔵文化財センター				
指定管理者名	公益財団法人山口県ひとづくり財団				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	埋蔵文化財保護に関する業務		施設・設備の維持管理に関する業務	
	業務内容	○埋蔵文化財の調査及び研究 ○発掘により発見された文化財の保護 ○埋蔵文化財の保護に関する指導及び助言 ○出土文化財・埋蔵文化財に関する資料の活用 ○埋蔵文化財に関する普及教育活動		○施設管理 ○設備管理 ○物品管理	
	実施状況	○事業計画に基づき適切に実施された。		○事業計画に基づき適切に実施された。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	448		
		令和4年度	492		
		増減	44		
	実績の分析	○HP等による事業案内の充実、新型コロナウイルス感染症に係る制限の段階的緩和等により、センター利用者及びイベント参加者が増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○報告書掲載出土品以外の遺物のデータベースを年次計画的に作成することとし、センター収蔵室の整理を行うとともに、県内市町及び県外発掘調査機関等からの照会に対しても幅広い指導・助言・支援ができるよう整理を行った。				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	34,836,000	34,836,000	0	
	支出	34,836,000	34,836,000	0	
	差引(収入-支出)	0	0	0	
	○予算の効率的かつ適正な執行に努めるとともに、電気代など経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	〈来館者アンケート実施結果〉 ○職員の対応：満足92%、やや満足4%、普通4%、やや不満0%、不満0% ○展示内容：満足84%、やや満足8%、普通0%、やや不満8%、不満0%				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○コロナ禍での埋蔵文化財に関する普及教育活動を実施 ○一定の距離を確保した上で発掘調査現地説明会を開催			
	現状の課題	○入館者・利用者の増加 ○出土品の収蔵スペースの確保 ○施設・設備の老朽化への対応			
	改善方策	○広報の改善、強化及び学校への働きかけの継続 ○展示内容や紹介方法の工夫			
数値目標 (利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	700	700	750	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		やまぐちフラワーランド			
指定管理者名		一般財団法人やない花のまちづくり振興財団			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	花きとのふれあいの機会の提供業務	花きに関する情報及び資料収集業務	その他花き園芸の振興を図るために必要な業務	
	業 務 内 容	○良好な花壇・庭園の提供 ○花に関する各種講座、体験教室、イベント等の開催	○図書情報室の管理運営 ○ホームページの運営、情報誌の発行等	○他団体等との共同イベント等の実施及び他団体等が開催するイベント等の支援 ○学校行事としての利用促進 ○地域振興に資する活動等への取組 ○物販施設の運営	
	実 施 状 況	○年間7回の植替えを実施し、延べ39万本の花を植栽しており、庭園管理技術の向上により、良好な庭園が維持・管理されている。 ○年4回の季節ごとのフェスタをはじめ、年間308回のイベントや年間122回の講座、常設の体験、見学会などを実施するとともに、隣接する山口県花き振興センターの見学会を開催し、年間455人の見学者を案内している。	○図書情報室に、花に関する図書・書籍を備え、情報収集が可能な環境を整備している。 ○ホームページや携帯会員へのメールマガジン、フェイスブックなどSNSによるイベント情報や庭園情報を提供するとともに、年4回の情報誌の発行や月ごとのイベント情報誌を発行・配布している。 ○園内の見どころマップを毎月前半と後半に作成し、掲示・配布している。	○花卉園芸推進協議会や花卉園芸組合連合会と共同で花き展示会やイベントを開催し、生産者と生花商の交流会等にも積極的に参加している。 ○花育活動として、地域の小学生を対象に、花苗栽培、花の利活用の講座を実施している。 ○フラワーランド倶楽部や育苗ボランティアを組織するとともに、市民花壇を対象とした花いっぱい運動の支援活動を実施している。 ○庭園に植栽されている花の苗や県内生産者の花きなどを積極的に販売し、施設利用者の花きへの関心や関与を向上させるべく、物販事業を展開している。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	75,719		
		令和4年度	84,834		
		増 減	9,115		
実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、外出の機会が増えたことや、県産花きと地産地消のPRによって購買目的の来園者が増加したことにより、前年度を上回る入園者数であった。				
利用促進に向けた新たな取組	○新しい生活様式を意識した各種講座、体験教室、イベント等を実施した。 ○県内産花き・種苗会社推奨の花きの活用や、インスタ映えを意識した花壇づくりを実施した。 ○フェイスブックやInstagramなどのSNSによる情報発信に注力した。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	219,139,000	225,635,026	6,496,026	
	支 出	218,377,000	222,048,632	3,671,632	
	差引(収入-支出)	762,000	3,586,394	2,824,394	
	○予算額及び決算額は損益ベースで計上している。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、入園者数・入園料収入ともに当初見込みを下回ったが、県産品応援キャンペーン等の活用により、鉢苗物や園芸用品等の物販売上が増加した。 ○開園17年が経過した施設の修繕、光熱費・資材費の高騰や新型コロナウイルス感染症防止対策により、経費支出が増加した。				

<p>サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)</p>	<p>○コロナ禍において新しい生活様式を意識した花とのふれあいの機会の提供に努めており、運営目標であるガーデニングの提案や花への親しみ・心が安らぐ憩いの空間としての利用がされており、利用者の満足度は高いと評価できる。</p> <p>○アンケートで意見があったコロナ禍での不安への対応として、注意喚起ポスターや手指消毒器などの充実、換気などを行っている。</p> <p>○園路や階段などの危険箇所やセンタープラザ内の廊下の修繕など、施設の機能維持に努めている。</p> <p>○花車下の池の落ち葉を定期的に拾うなど、池の清潔感の維持に努めている。</p> <p>○種苗会社等と連携を図り、バラや新しい品種の植栽など、ニーズに応じた庭園づくりに努めている。</p> <p>○スタッフの接客対応や庭園管理の状況など、年々レベルアップが図られており、質の高いサービスを引き続き提供している。</p>				
<p>課題と改善方策等</p>	<p>前年度までの改善方策に対する取組状況</p>	<p>○施設利用者数の拡大</p> <p>①修学旅行を予定している県外の小中学校など、県外旅行者を県内に仕向けるためPRを強化した。</p> <p>②雨の日や寒い日などのスタンプ特典を充実させ、来園者の定着や再来園の増加を図った。</p> <p>③毎月インスタグラムのフォトコンテストを開催し、優秀な作品をホームページで紹介した。</p> <p>④県産花きの展示や花の地産地消をより一層PRし、鉢苗購入目的の来園者増加を図った。</p> <p>⑤県内観光施設や市内観光施設との連携によるサービス拡充を図った。</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、花の持つ多様性を実感するための体験型・参加型・コンテスト系イベントの充実を図った。</p> <p>⑦図書情報室の蔵書の充実やキッズコーナーの設置等により、施設としての魅力向上に努めた。</p> <p>○施設の老朽化対策・機能充実</p> <p>①施設の床補修や手摺の設置、自動灌水設備の改修等により、来園者が安全で快適に利用できるように施設の機能維持を図った。</p> <p>○庭園の魅力向上</p> <p>①新しい生活様式を意識した良質な花壇・庭園の提供を行うために、フラワーガーデン等の植替えを年7回実施し、庭造りのモデル提案を行った。</p> <p>②県産の花苗や種苗会社と連携した推奨花苗を植栽し、自宅でも実践できる庭園づくりに努めるとともに、適正品種の確認と次年度植栽計画への反映を行った。</p> <p>③他のイベントの開催時期に合わせて、トピアリーや壁面花壇を利用したフォトスポットをイベントホール内に設置し、撮影に御利用いただいた。</p> <p>④イベントや体験教室を通して、より多くの方が花と接するきっかけづくりに努めた。</p> <p>⑤園内の見どころマップを毎月前半と後半に作成し、掲示と配布を行った。</p> <p>⑥フラワーランド倶楽部会員を中心に、園内花き専門家の養成に努めた。</p>			
	<p>現状の課題</p>	<p>○施設利用者（入園者）数の拡大</p> <p>○施設や機器、器具等の老朽化対策・機能充実</p> <p>○庭園の連作障害対策と更なる庭園の魅力向上</p>			
	<p>改善方策</p>	<p>○施設利用者数の拡大</p> <p>①福祉施設や教育施設、各種団体へのPR活動を強化</p> <p>②花の多様性を実感できる体験型イベントや来園者の参加・交流型のイベント等の充実</p> <p>③花き関連団体や地域団体との連携強化による「マイクロツーリズム」等の一面を担う花き総合拠点施設としての充実</p> <p>④新しい生活様式を踏まえたサービスの提供</p> <p>⑤自宅や職場とは違う心地よい居場所「サード・プレイス」の価値を創造</p> <p>⑥コロナ禍の克服に向けて関係機関と連携し「シビックプライド」を醸成</p> <p>○施設の老朽化対策・機能充実</p> <p>①利用者が安全で快適に利用できるような施設設備の機能維持</p> <p>○庭園の魅力向上</p> <p>①県内生産者や国内外種苗メーカーと連携した種苗の選択と植栽への活用</p> <p>②イベントや体験教室を通じた、より多くの人に対する花と接するきっかけづくり</p> <p>③園内花き専門家の養成</p>			
<p>数値目標 (利用者数)</p>	<p>年 度</p> <p>目標値(人)</p>	<p>令和5年度</p> <p>120,000</p>	<p>令和6年度</p> <p>120,000</p>	<p>令和7年度</p> <p>120,000</p>	<p>令和8年度</p> <p>120,000</p>
<p>労働条件・環境</p>	<p>■適 □否</p>	<p>否の場合の内容と対応</p>			

指定管理施設名		栽培漁業センター（外海、外海第二、内海）				
指定管理者名		公益社団法人山口県栽培漁業公社				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	種苗生産業務	指導研修業務		維持管理業務	
	業務内容	○水産動植物の種苗の生産及び配布（14魚種）	○放流種苗の中間育成等に係る指導		○センター施設の維持管理	
	実施状況	○全魚種において、おおむね計画以上の生産・配布を行った。	○中間育成指導107件、放流指導178件を実施した他、4,725人の視察研修を受け入れた。		○緊急性の高いものから優先的に修繕を行った。	
	未履行の有無	無	無		無	
施設利用実績		種苗生産尾数（尾）	令和3年度	15,860,000		
			令和4年度	15,046,000		
			増減	△814,000		
		実績の分析	○県内漁業者等の需要に基づいて県が作成した種苗生産計画（13,139千尾）を上回った。			
利用促進に向けた新たな取組		○地道な取組であるが、種苗配布等で現地に赴いた際や電話等による種苗中間育成担当者からの質問に、できる限り懇切丁寧に説明するよう努めた。 ○種苗出荷の日程調整は、可能な限り相手の要望に添うよう努めた。				
収支結果		科目	予算額（円）	決算額（円）	差異（円）	
		収入	303,849,000	330,495,176	26,646,176	
		支出	304,494,000	335,733,680	31,239,680	
		差引（収入－支出）	△645,000	△5,238,504	△4,596,504	
		○収入：指定管理料収益は同額であるが、特定資産運用益、その他（県）収益及び雑収益の増により増加 ○支出：原油高騰による電気料金の増及び緊急の対応が必要な修繕費等の増により増加				
サービスの質の評価（利用者満足度調査結果等）		○キジハタについて、前年度に引き続き計画を上回る生産を達成し、漁業者の期待に応えた。 ○アユの生産中に発生する形態異常魚については、その混入率を定期的にチェックし、配布先の理解を得ながら、極力異常魚の混入がない健苗配布に努めた。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○生産技術：需要・要望の多いキジハタについて、計画を上回る生産を実現した。 ○疾病対策：水産研究センターと連携して早期の検査依頼を行い、感染症防止に努めた。 ○施設管理：施設の老朽化による故障、危険箇所については、県と分担して緊急度の高いものから計画的な修繕を行った。				
	現状の課題	○安定生産：大型種苗の需要増等による飼育期間の長期化に伴う施設や水量の不足と過密飼育 ○疾病対策：ヒラメ・トラフグ・クルマエビ等の感染症への対策検討 ○施設管理：施設等の全体的な老朽化による修繕費の加速度的増加				
	改善方策	○安定生産：重要基幹設備の拡充と施設の効率的な利用の徹底 ○疾病対策：基本防除の徹底と発生時の水産研究センター等との更なる連携強化 ○施設管理：老朽化の度合いや緊急度、重要度に応じた、県との分担による計画的な修繕				
数値目標（種苗生産計画達成率）		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値（％）	100	100	100	100
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			



指定管理施設名		徳山漁港プレジャーボート用浮棧橋等				
指定管理者名		山口県漁業協同組合				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務		
	業 務 内 容	○利用許可 ○利用料金徴収等		○施設点検、清掃、補修等		
	実 施 状 況	○利用許可 ○利用料金徴収		○毎日のトイレ清掃、場内簡易清掃 ○毎月2回の全体清掃 ○毎月1回の施設点検 ○簡易な補修工事の実施 ○アンカーロープの新調 ○植栽の剪定 ○繋船の指導		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	101		
			令和4年度	102		
			増 減	1		
		実績の分析	○新規格係船場所(中型船)の整備に伴い、新規利用者が増加			
利用促進に向けた新たな取組		○小型船、大型船に加え、新たに中型船の係船場所を整備し、新規利用者の開拓を図った。 ○係船ロープ整備やアンカーロープ調整を管理者で実施し、利便性の向上を図った。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	7,400,000	6,367,760	△1,032,240	
		支 出	7,400,000	6,367,760	△1,032,240	
		差引(収入-支出)	0	0	0	
		○新規格係船場所の整備に伴い経費が増加したものの、事業規模を縮小し、経費削減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○徹底した清掃・美化活動と迅速な設備補修対応により、利用者から一定の評価を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○利用者の利便性を考慮し、簡易な補修等の即時対応を実施した。 ○新規利用者には、係船ロープの整備等を管理者で実施し、利便性の向上に努めた。 ○利用者からの既設アンカーロープの長さ再調整等の要望にも、可能な範囲で対応した。				
	現状の課題	○高齢等の理由から、船舶を手放す利用者が増加している。 ○レジャーの多様化や船舶所有に伴う経済的負担の大きさから、新たな船舶取得者が減少している。 ○浮棧橋の老朽化が進行し、本格的な改修の必要性に迫られている。				
	改善方策	○今後も利用促進に向けて、随時申込、即時許可を実施して利用率向上に努める。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	107	108	109	109
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		見島漁港可動橋				
指定管理者名		萩市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		運營業務	料金徴収業務	
	業 務 内 容	○清掃、保守点検、補修等		○施設操作等	○利用料金徴収	
	実 施 状 況	○萩海運有限会社に一部管理委託し、清掃、保守点検、補修を行っている。		○萩海運有限会社に管理委託し、施設操作を行っている。	○萩海運有限会社に管理委託し、利用料金徴収を行っている。	
	未履行の有無	無		無	無	
施設利用実績		利用者数(人)		令和3年度	30,523	
				令和4年度	32,575	
				増 減	2,052	
		実績の分析	○令和3年度と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことにより、島民以外の見島への渡航が増加している。			
利用促進に向けた新たな取組		○特記事項なし				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	3,220,000	3,252,800	32,800	
		支 出	3,280,000	4,877,002	△1,597,002	
		差引(収入-支出)	△60,000	△1,624,202	△1,564,202	
		○施設の点検、補修等費が利用料金を上回っている。 ○島民生活の利便性確保のため、本土と見島を結ぶ唯一の公共交通機関としての定期船航路を維持することを目的に、市として政策的な支出を実施している。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○定期船利用者からの苦情もなく、おおむね良好と判断される。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし				
	現状の課題	○特記事項なし				
	改善方策	○特記事項なし				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	32,000	35,000	35,000	35,000
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		見島漁港宇津多目的広場				
指定管理者名		萩市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		運營業務	料金徴収業務	
	業 務 内 容	○清掃、保守点検、補修等		○利用の問い合わせ対応、利用届の受付等	○利用料金徴収	
	実 施 状 況	○山口県漁業協同組合に一部業務委託して清掃、保守点検、補修等を実施		○山口県漁業協同組合に一部業務委託して利用届の受付等を実施	○山口県漁業協同組合に業務委託して利用料金徴収を実施	
	未履行の有無	無		無	無	
施設利用実績		利用者数(人)		令和3年度	0	
				令和4年度	0	
				増 減	0	
		実績の分析		○過年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績がなかった。		
利用促進に向けた新たな取組		○特記事項なし				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	6,000	0	△6,000	
		支 出	18,160	0	△18,160	
		差引(収入-支出)	△12,160	0	12,160	
		○多目的広場は、見島への観光客と島民の交流を通じて離島振興を図ることを目的に、市として政策的な支出を実施しているが、令和4年度は利用実績がなかった。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○利用実績なし				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし				
	現状の課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績がなかった。 ○新型コロナウイルス感染症の終息後に利用者が安心して利用できるよう、施設の維持管理を行う。				
	改善方策	○定期的なメンテナンスに努める。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	20	30	30	30
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		維新百年記念公園				
指定管理者名		一般財団法人山口県施設管理財団				
指 定 期 間		令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務		運営業務		
	業 務 内 容	○公園施設・整備の維持管理の実施		○施設の利用、受付、料金徴収、自主企画事業の実施		
	実 施 状 況	○事業計画どおり実施されている。		○事業計画どおり実施されている。		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	441,407		
			令和4年度	496,122		
			増 減	54,715		
		実績の分析	○令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策としての施設新規貸出中止や予約済み施設の利用自粛要請はなく、行動制限の緩和により全体的に利用者数が増加し、回復傾向にある。			
利用促進に向けた新たな取組		○前年度まで新型コロナウイルス感染症による中止が続いていた自主企画事業の実施に加え、新たにレノファ山口との共催でスタジアムツアーを実施するなど好評を得た。 ○イベント主催者と協力し、駐車場をはじめとした施設利用の円滑化のため、混雑情報を共有するなど、公園の快適な利用に向けた取組を行った。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	362,388,000	365,522,816	3,134,816	
		支 出	363,132,000	358,132,839	△4,999,161	
		差引(収入-支出)	△744,000	7,389,977	8,133,977	
		○前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、利用料収入が増加したことに加えて、経費の削減や予算の効率的な執行に努めたことで黒字となった。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○自主企画事業の参加者や一般利用者からの意見によると、施設の管理・運営の両面で評価を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○ホームページや利用者懇話会により利用者から改善等の意見を聞き、利用者のニーズを把握した。 ○園内巡視、点検等で把握した要修繕箇所については速やかに対応するとともに、記録を適切に残し管理している。				
	現状の課題	○開園から50年近くが経過し各施設が老朽化する中で、快適な施設づくりを通じて利用者の満足度を向上させるために、公園内設備の更新を順次行う必要がある。 ○事故に発展しそうな案件を未然に洗い出し対応することで、安全な環境を維持していくことが課題である。				
	改善方策	○利用者アンケートや各関係団体からの要望の聞き取りにより利用者のニーズを把握するとともに、設備更新が必要な部分を精査し、対応していく。 ○危険と思われる箇所の早期発見に努め、利用者の安全確保を図る。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	529,000	559,000	—	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	片添ヶ浜海浜公園				
指定管理者名	周防大島町				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務		運營業務	
	業 務 内 容	○公園施設・整備の維持管理の実施		○施設の利用、受付、料金徴収、自主企画事業の実施	
	実 施 状 況	○事業計画どおり実施されている。		○おおむね事業計画どおり実施されている。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	20,979		
		令和4年度	22,558		
		増 減	1,579		
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染症による著しい影響はなく、繁忙期の好天にも恵まれたため、利用者数が増加した。 ○特に平日の少人数キャンプ等、多様な形態での利用が増えている。			
利用促進に向けた新たな取組	○新規の利用者及びリピーターの確保のため、地域特性を活かしたイベントの開催や、町域ネットワークを活用した広報、施設のイメージ戦略により、積極的な利用促進に取り組んだ。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	78,530,353	80,366,308	1,835,955	
	支 出	78,530,353	80,352,845	1,822,492	
	差引(収入-支出)	0	13,463	13,463	
	○新型コロナウイルス感染症防止対策としての利用制限がなくなったことによる料金収入の増加や、光熱費高騰時にも一層の経費節減に努めた結果、収支は黒字となった。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○利用者の自由意見ノート、インターネット予約サイトのレビュー欄、管理人ブログ及びメール等に寄せられる意見等の結果からは、利用者満足度は高く、一定の評価を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○前年度、コロナ禍により実施できなかった自主企画事業については、修学旅行の中止により開催できなかったものも一部あったが、町域ネットワークを活かした広報も行い、地域色のある新規イベントを企画するなど、工夫して取り組んだ。			
	現状の課題	○施設及び設備が老朽化しているため、適切な点検・保守を行うことで利用者が安全・快適に公園を利用できるよう、機能の維持を図っているが、これまでどおり安全な環境を維持していくことが課題である。 ○利用促進のため、施設利用の多様な可能性を更に模索していく必要がある。			
	改善方策	○施設内パトロール等により危険箇所を早急に発見し、修繕等の対応をすることで、ハード面の事故を防止する。 ○利用者とのコミュニケーションを密にすることでリピーターの確保に取り組み、地域全体で協力して利用者の増加を図る。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	25,000	28,000	31,000	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		萩ウェルネスパーク				
指定管理者名		萩市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務		運営業務		
	業 務 内 容	○公園施設・整備の維持管理の実施		○施設の利用、受付、料金徴収、自主企画事業の実施		
	実 施 状 況	○事業計画どおり実施されている。		○事業計画どおり実施されている。		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	40,580		
			令和4年度	45,842		
			増 減	5,262		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症防止対策としての施設の利用制限に伴う影響は一部あったものの、前年度よりは利用者が増加し、回復傾向にある。			
利用促進に向けた新たな取組		○大会等の誘致をはじめ、地域の各種スポーツ組織に練習場所としてアピールをし、定期利用者の増加に努めた。 ○Instagramを開発するなど、積極的な大会の広報を行った。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	34,252,000	36,438,721	2,186,721	
		支 出	54,917,300	55,694,876	777,576	
		差引(収入-支出)	△20,665,300	△19,256,155	1,409,145	
		○収入の確保及び経費節減に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少したことや、施設の経年劣化により維持管理費の圧縮が難しいこと等により、依然として赤字が続いている。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○施設利用者からの聞き取りによると、公園の管理運営についておおむね好評を得ている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○SNSの利用及び地域の各種スポーツ組織へのPRにより、利用者数の増加・定着に取り組んだ。 ○萩市の実施する合宿支援事業の利用で、トップアスリートと市民の交流の機会を設けた。				
	現状の課題	○新型コロナウイルス感染症の影響も緩和されたため、地域レベルで定着化している各種大会やイベントでの利用者満足度をより向上させるとともに、屋外施設における平日の利用促進により、利用者数の底上げを図る必要がある。				
	改善方策	○施設の老朽化に伴う小規模な劣化や損傷について、損傷が進行する前に修繕することにより、利用者の安全・快適な公園機能の維持を図る。 ○利用者とのコミュニケーションを取り、地域で利用者の増加を図る。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	49,000	52,000	55,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	山口きらら博記念公園				
指定管理者名	きらら未来創発パートナーズ				
指 定 期 間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務		運営業務	
	業 務 内 容	○公園施設・設備の維持管理の実施		○施設の利用、受付、料金徴収、自主企画事業の実施	
	実 施 状 況	○事業計画どおり実施されている。		○事業計画どおり実施されている。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	159,567		
		令和4年度	296,077		
		増 減	136,510		
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、自主事業の積極的な実施やSNSを使ったイベント情報の発信等により、利用者数が増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○自主事業について、バンジーランや空中散歩等、新たなイベントを数多く実施し、新規利用者の獲得に努めた。 ○職員のスポーツ指導員資格の取得をサポートするなど、新たなイベント実施に向け、精力的に取り組んだ。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	525,855,000	555,064,755	29,209,755	
	支 出	525,855,000	556,777,140	30,922,140	
	差引(収入-支出)	0	△1,712,385	△1,712,385	
	○新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことにより、利用料収入は増加したものの、人件費高騰等の影響を受け赤字となった。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○公園内に新たに利用者アンケートのQRコードを設置し、更なるサービスの向上に努めた。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○自主事業について、スポーツイベント以外に企業と連携したイベントを実施するなど、新規利用者層の獲得に努めた。			
	現状の課題	○多様化する利用者のニーズを的確に把握し、魅力ある自主事業を展開することで、公園利用者数の更なる増加を目指したい。			
	改善方策	○世間のトレンドにアンテナを張り、新たな自主事業を生み出し、利用者数の増加を図っていく。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	320,000	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		周南流域下水道			
指定管理者名		総合設備管理株式会社			
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務			
	業務内容	○周南流域下水道の管理に関する事務			
	実施状況	○適切に管理・運営されている。			
	未履行の有無	無			
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	—		
		令和4年度	—		
		増減	—		
	実績の分析	○外部利用者なし			
利用促進に向けた新たな取組		○外部利用者なし			
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	355,535,761	355,535,761	0	
	支出	355,535,761	356,956,407	1,420,646	
	差引(収入-支出)	0	△1,420,646	△1,420,646	
	○材料費などが予算額を上回り赤字となったが、適切な施設維持管理を実施する中で経費の削減可能な部分の見直し・改善等を行い、引き続き円滑な施設の運営・管理体制の充実に努めていく。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○外部利用者なし			
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○機器の特性を踏まえた操作などについて、実技を交えた研修を行い、積極的に技術継承に取り組んだ。 ○汚水の温度や濃度に応じた送風機の効率的な運転などを行うことにより、電力使用量の抑制に取り組んだ。			
	現状の課題	○収支が赤字となっていることから、管理業務を適切に実施しつつ、引き続き、経費節減に努める必要がある。			
	改善方策	○省エネへの取組の更なる充実を図る。			
数値目標 (利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応		



指定管理施設名		田布施川流域下水道			
指定管理者名		総合設備管理株式会社			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	管理業務			
	業 務 内 容	○田布施川流域下水道の管理に関する事務			
	実 施 状 況	○適切に管理・運営されている。			
	未履行の有無	無			
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	—		
		令和4年度	—		
		増 減	—		
	実績の分析	○外部利用者なし			
利用促進に向けた新たな取組	○外部利用者なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収 入	102,740,851	102,740,851	0	
	支 出	102,740,851	103,564,596	823,745	
	差引(収入-支出)	0	△823,745	△823,745	
	○薬品費が予算額を上回り赤字となったが、適切な施設維持管理を実施する中で経費の削減可能な部分の見直し・改善等を行い、引き続き円滑な施設の運営・管理体制の充実に努めていく。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○外部利用者なし				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○業務に必要な研修に参加し、職員の更なる技術力向上に取り組んだ。 ○汚水の温度や濃度に応じた送風機の効率的な運転などを行うことにより、電力使用量の抑制に取り組んだ。			
	現状の課題	○収支が赤字となっていることから、管理業務を適切に実施しつつ、引き続き、経費節減に努める必要がある。			
	改善方策	○省エネへの取組の更なる充実を図る。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		岩国港 新港運動公園			
指定管理者名		岩国市			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	トイレ管理業務	植栽管理業務	自家用電気工作物保安業務	
	業 務 内 容	○トイレの清掃、トイレト トペーパーの補充、浄化 槽管理、汚泥処理	○公園内外の草刈、芝生刈 込、植栽の剪定業務	○定期的な電気工作物の点 検測定業務	
	実 施 状 況	○定期的に実施	○定期的に実施	○定期的に実施	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	10,871		
		令和4年度	9,723		
		増 減	△1,148		
	実績の分析	○猛暑日が続いたことにより、夏季の利用者が減少した。 ○高齢化に伴い、利用者が減少した。			
利用促進に向けた 新たな取組	○特記事項なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	210,000	237,900	27,900	
	支 出	3,841,000	3,840,606	△394	
	差引(収入－支出)	△3,631,000	△3,602,706	28,294	
	○夜間利用者の増加に伴い、夜間照明料金の収入が増加した。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善 方策等	前年度までの 改善方策に対 する取組状況	○施設の定期的な清掃や巡回を行っている。			
	現 状 の 課 題	○施設そのものが老朽化している。			
	改 善 方 策	○計画的に予算計上を行う。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の 内容と対応			

指定管理施設名	室津港 室津港湾施設				
指定管理者名	上関町				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	美化清掃・維持管理業務	利用調整・使用許可窓口業務		
	業 務 内 容	○清掃、保守点検、補修等	○利用の問い合わせ対応、利用届の受付等		
	実 施 状 況	○事業計画どおり実施されている。	○事業計画どおり実施されている。		
	未履行の有無	無	無		
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	0		
		令和4年度	0		
		増 減	0		
	実績の分析	○コロナ禍のため、当施設内で実施予定のイベントが全て中止となっている。			
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	0	0	0	
	支 出	486,000	140,335	△345,665	
	差引(収入-支出)	△486,000	△140,335	345,665	
	○予定していたイベントが中止になったため、支出が当初の見込みを下回った。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし			
	現状の課題	○特記事項なし			
	改善方策	○特記事項なし			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	-	-	-	-
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	平生港 水場地区物揚場等				
指定管理者名	平生町				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	美化清掃維持補修業務	利用調整業務	許可手続き業務	
	業 務 内 容	○施設の美化清掃及び維持補修業務	○施設の利用調整業務	○施設の使用許可手続きに関する窓口業務	
	実 施 状 況	○週2回のトイレ清掃 ○年2回の草刈り	○係留の利用調整について、必要に応じ係留指導等を行っている。	○年度1回施設利用許可手続き（許可書交付・ステッカー配布）を行っている。	
	未履行の有無	無	無	無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	59		
		令和4年度	61		
		増 減	2		
	実績の分析	○新規申込件数が利用廃止件数を上回った。			
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	2,880,000	2,824,000	△56,000	
	支 出	2,880,000	2,755,171	△124,829	
	差引(収入-支出)	0	68,829	68,829	
	○施設の維持管理経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし			
	現状の課題	○特記事項なし			
	改善方策	○特記事項なし			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		徳山下松港 はなぐり緑地				
指定管理者名		下松市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		使用許可業務		
	業 務 内 容	<input type="checkbox"/> 樹木及び芝生の維持管理 <input type="checkbox"/> 建築物・工作物等の維持管理 <input type="checkbox"/> はなぐり緑地の利用の案内及び指導 <input type="checkbox"/> はなぐり緑地の普及啓発		<input type="checkbox"/> はなぐり緑地の使用許可・変更許可 <input type="checkbox"/> 国・地方公共団体の使用の協議 <input type="checkbox"/> 使用の中止・廃止の届出の受理		
	実 施 状 況	<input type="checkbox"/> 施設内の清掃、草刈、パトロールを実施		<input type="checkbox"/> 使用許可件数 7件 <input type="checkbox"/> その他の申請 0件		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	0		
			令和4年度	1,474		
			増 減	1,474		
		実績の分析	<input type="checkbox"/> 令和4年度は、3年ぶりに「はなぐり海水浴場」を開設したため、利用者が増加した。			
利用促進に向けた新たな取組		<input type="checkbox"/> 特記事項なし				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	0	0	0	
		支 出	502,857	502,857	0	
		差引(収入-支出)	△502,857	△502,857	0	
		<input type="checkbox"/> 特記事項なし				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<input type="checkbox"/> 年間を通じて、散歩客や釣り客など、一定数の来訪者があり、市の行楽地の一つとして定着している。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<input type="checkbox"/> えさやり禁止等の看板設置を継続して実施している。				
	現状の課題	<input type="checkbox"/> 野良猫の繁殖や野良猫への餌やりマナー等について、対応に苦慮している。				
	改善方策	<input type="checkbox"/> えさやり禁止等の看板設置。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	2,000	2,000	2,000	2,000
労働条件・環境		<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		徳山下松港 下松埠頭公園				
指定管理者名		下松市				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		浄化槽維持管理業務		
	業務内容	○下松埠頭公園の維持管理		○下松埠頭公園の浄化槽の維持管理		
	実施状況	○下松グラウンドゴルフ協会に業務を委託（公園内施設の清掃及び除草）		○巡快サービス興業有限会社に業務を委託（浄化槽の維持管理）		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数（人）	令和3年度	6,102		
			令和4年度	5,482		
			増減	△620		
		実績の分析	○高齢化による利用者の減少や夏季の猛暑又は新型コロナウイルス感染症対策による利用見合わせにより、利用者が減少した。			
利用促進に向けた新たな取組		○特記事項なし				
収支結果		科目	予算額（円）	決算額（円）	差異（円）	
		収入	0	0	0	
		支出	691,002	691,002	0	
		差引（収入－支出）	△691,002	△691,002	0	
		○特記事項なし				
サービスの質の評価 （利用者満足度調査結果等）		○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし				
	現状の課題	○特記事項なし				
	改善方策	○特記事項なし				
数値目標 （利用者数）		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値（人）	8,000	8,000	8,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		徳山下松港 洲鼻船だまり				
指定管理者名		下松市				
指 定 期 間		令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		係留施設等使用許可業務		
	業 務 内 容	○施設内の清掃及び草刈り、照明設備及び浮標灯の電球交換等		○山口県港湾施設管理条例に基づき、係留施設の使用許可等を行う（特殊使用許可は除く）		
	実 施 状 況	○定期的に実施		○適正に実施		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	63		
			令和4年度	63		
			増 減	0		
		実績の分析	○特記事項なし			
利用促進に向けた新たな取組		○施設の設置場所に空きが発生次第、公募により係船を随時進めた。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	1,488,000	1,391,900	△96,100	
		支 出	10,845,000	10,381,636	△463,364	
		差引(収入－支出)	△9,357,000	△8,989,736	367,264	
		○光熱水費など、施設の維持管理経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○協議会を設置し、利用者の要望等を吸い上げ、サービス向上に努めた。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○年度初めに代表者会議を実施し、利用者の意見を集約することで、より良いサービスの提供を図っている。 ○適宜、窓口及び電話相談対応を行うことで、迅速かつ適正な施設運営を行っている。				
	現状の課題	○野積場等の施設の有効活用を図る。				
	改善方策	○地元関係者と協議する。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	101	101	101	101
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		徳山下松港 晴海緑地公園				
指定管理者名		周南市				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務		
	業 務 内 容	○使用許可に係る業務		○公園内施設の維持管理、利用の案内及び指導に関する業務		
	実 施 状 況	○山口県港湾施設管理条例により知事が許可した行為は令和4年度実績で3件であり、利用者数は延べ20,050人であった。		○トイレ・芝生等の管理はシルバー人材センター等に業務を依頼し、全体の管理は職員が定期的にチェックを行っている。		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	5,847		
			令和4年度	20,050		
			増 減	14,203		
		実績の分析	○新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、大きなイベントが開催されたことにより、利用者数が大幅に増加した。			
利用促進に向けた新たな取組		○シティープロモーション等による工場夜景のPRなど、周南市の魅力スポットとしての認知拡大を推進した。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	0	0	0	
		支 出	7,703,965	7,283,013	△420,952	
		差引(収入-支出)	△7,703,965	△7,283,013	420,952	
		○光熱水費など、施設の維持管理費の削減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○適切な維持管理により、市民が利用しやすい公園の環境を整えていると考える。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○職員が定期的に現場視察を行っている。				
	現状の課題	○公園利用者以外の駐車が多い。 ○ゴミの不法投棄やトイレの利用マナーが悪い事例がある。 ○施設の老朽化が進行している。				
	改善方策	○掲示物を設置して利用方法等の注意を促している。 ○周南港湾管理事務所及び関連団体と密な連絡をとり、適正な施設の維持に務めている。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			



指定管理施設名		徳山下松港 櫛ヶ浜船だまり			
指定管理者名		周南市			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務		維持管理業務	
	業 務 内 容	○施設の利用に関すること		○施設の美化・清掃及び維持・補修に関すること	
	実 施 状 況	○使用料は徴収していない。		○照明灯電気代を市が負担し、利用者を中心に美化清掃している。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	0		
		令和4年度	0		
		増 減	0		
	実績の分析	○地元漁協の利用が主である(利用者数に地元漁協を含めていない)。			
利用促進に向けた新たな取組	○使用許可基準に沿って、積極的に行為を認めた。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収 入	0	0	0	
	支 出	903,726	998,198	94,472	
	差引(収入-支出)	△903,726	△998,198	△94,472	
	○光熱水費など、施設の維持管理費の削減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○問題はなく、適切に利用が図られていると考える。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○櫛ヶ浜船だまりの機能を日常的に良好な状態に維持し、安全かつ効率的な管理や異常時の危機管理体制の整備を行うことにより、小型船舶の円滑な入出港と陸揚げ機能の強化及び係留の安全性等の設置目的に従った管理業務に努めた。			
	現状の課題	○現状に問題点はなく、管理・運営が適切に行われている。			
	改善方策	○設置目的に従った管理業務に努める。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	徳山下松港 築港緑地				
指定管理者名	周南市				
指 定 期 間	令和4年2月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運營業務		維持管理業務	
	業 務 内 容	○使用許可に係る業務		○緑地内施設の維持管理、利用の案内及び指導に関する業務	
	実 施 状 況	○山口県港湾施設管理条例により知事が許可した行為は令和4年度実績で4件であり、利用者数は延べ400人であった。		○芝生等の管理はシルバー人材センターに業務を依頼し、全体の管理は職員が不定期的にチェックを行っている。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	40		
		令和4年度	400		
		増 減	360		
	実績の分析	○令和3年度2月から供用開始された施設のため、前年度の利用者数が少なかったことや、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、イベントが開催されたことにより、利用者数が増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○シティープロモーション等による工場夜景のPRなど、周南市の魅力スポットとしての認知拡大を推進した。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	0	0	0	
	支 出	704,380	531,334	△173,046	
	差引(収入-支出)	△704,380	△531,334	173,046	
	○光熱水費など、施設の維持管理費の削減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○新しい施設と適切な維持管理により、市民が利用しやすい環境を整えていると考える。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○県において、引き続き、施設整備工事が行われた。			
	現状の課題	○駐車場等が工事継続中であり、周辺環境が整っていない。			
	改善方策	○施設整備の早期完了			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		三田尻港 築地港湾施設				
指定管理者名		防府市				
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		運営業務		
	業務内容	○定期点検業務		○使用許可にかかる業務		
	実施状況	○9/26、3/23の年2回実施		○再委託の承認を受けた山口県漁業協同組合が水産物卸売市場運営のため使用している。		
	未履行の有無	無		無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	1,781		
			令和4年度	1,937		
			増減	156		
		実績の分析	○漁業者の出漁日数及び天候によるもの。			
利用促進に向けた新たな取組		○特記事項なし				
収支結果		科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
		収入	0	0	0	
		支出	81,454	81,454	0	
		差引(収入-支出)	△81,454	△81,454	0	
		○特記事項なし				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし				
	現状の課題	○特記事項なし				
	改善方策	○特記事項なし				
数値目標 (利用者数)		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	1,850	1,850	1,850	1,850
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		三田尻港 三田尻緑地公園			
指定管理者名		防府市			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		運営業務	
	業 務 内 容	○維持管理業務		○使用許可に係る業務	
	実 施 状 況	○芝刈、灌水、施肥、巡回点検等は山口県漁業協同組合へ委託し、その他管理は職員が実施。		○山口県港湾施設管理条例第7条第1項及び第2項の許可を行う。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	3,516		
		令和4年度	6,374		
		増 減	2,858		
	実績の分析	○新型コロナウイルス感染防止のための使用禁止期間が無くなったため、利用者数が増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収 入	0	0	0	
	支 出	3,515,000	2,422,623	△1,092,377	
	差引(収入－支出)	△3,515,000	△2,422,623	1,092,377	
	○光熱水費など、施設の維持管理経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○適切な管理により、来場者が利用しやすい環境を整えていると考えている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし			
	現状の課題	○特記事項なし			
	改善方策	○特記事項なし			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	萩港 浜崎物揚場等				
指定管理者名	萩市				
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		使用許可業務	
	業務内容	○施設の維持管理 ○施設の利用 ○施設の清掃等の環境美化		○港湾施設の使用許可 ○届出の受理 ○使用許可等の取消等	
	実施状況	○萩海運有限会社と管理委託協定を締結し、維持管理を実施している。		○萩海運有限会社に対し、使用許可している。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(回)	令和3年度	2,127		
		令和4年度	2,137		
		増減	10		
	実績の分析	○利用回数が若干増加したが、大きな要因はない。			
利用促進に向けた新たな取組	○特記事項なし				
収支結果	科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収入	3,010,000	2,991,800	△18,200	
	支出	3,010,000	1,817,420	△1,192,580	
	差引(収入-支出)	0	1,174,380	1,174,380	
	○光熱水費など、施設の維持管理経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○特記事項なし			
	現状の課題	○特記事項なし			
	改善方策	○特記事項なし			
数値目標 (利用者数)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		萩港 潟港緑地			
指定管理者名		萩市			
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	維持管理業務		使用許可業務	
	業務内容	○樹木及び芝生の維持管理 ○建築物・工作物の維持管理 ○緑地の利用の案内及び緑地の普及啓発		○緑地の使用許可 ○国の機関等の使用許可に関する協議等 ○使用の中止・廃止の届出の受理等 ○緑地の使用許可に関する条件付加 ○使用許可の取消等	
	実施状況	○観光課職員の監督のもと、萩公共サービス株式会社に清掃業務等を委託して実施。 ○企画政策課職員の監督のもと、有限会社ミヤモトに浄化槽維持管理業務を委託して実施。		○企画政策課職員が萩土木建築事務所と連絡を取り実施。	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用者数(人)	令和3年度	0		
		令和4年度	0		
		増 減	0		
	実績の分析	○各種行事の参加人数のみを記載している。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、大型客船入港歓迎行事がなくなるとともに、例年のイベントが会場変更となり、管理施設の利用がなかった。			
利用促進に向けた新たな取組	○萩市公式ホームページや市民便利帳への掲載により、施設利用の促進を図っている。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
	収 入	192,000	444,263	252,263	
	支 出	2,248,153	2,244,753	△3,400	
	差引(収入－支出)	△2,056,153	△1,800,490	255,663	
	○電気料金の高騰及び電気契約変更により、支出額が大幅に増えた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○定期点検を行い、不具合箇所等の早期発見に努めた。			
	現状の課題	○施設の老朽化が進んでいる。			
	改善方策	○定期点検を行い、不具合箇所等の早期発見に努めるとともに、必要に応じて、施設の長寿命化を図る。			
数 値 目 標 (利用者数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(人)	—	—	—	—
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	萩港 潟港施設				
指定管理者名	株式会社マリーナ萩				
指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	船舶保管業務		給油業務	
	業 務 内 容	○船舶の保管・管理		○船舶の給油	
	実 施 状 況	○適切に管理されている		○適切に管理されている	
	未履行の有無	無		無	
施設利用実績	利用艇数(艇)	令和3年度	64		
		令和4年度	69		
		増 減	5		
	実績の分析	○船舶保管数が5艇増加した。			
利用促進に向けた新たな取組	○ホームページやSNSツールを利用し、レンタルボート利用者などの新規顧客獲得に向けたPRを実施した。				
収 支 結 果	科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
	収 入	34,580,000	38,042,085	3,462,085	
	支 出	34,330,800	33,695,403	△635,397	
	差引(収入-支出)	249,200	4,346,682	4,097,482	
	○光熱水費など、施設の維持管理経費の節減に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)	○安全に施設を利用できるよう、施設の維持管理に努めている。				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○フェンスの一部について、取替工事を実施した。			
	現状の課題	○マリントラベリフト(船舶揚降リフト)のワイヤー交換 ○構内照明の老朽化			
	改善方策	○施設の状況を踏まえ、適切に対応する。			
数 値 目 標 (利用艇数)	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値(艇)	69	70	71	72
労働条件・環境	■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名	県営住宅等			
指定管理者名	一般財団法人山口県施設管理財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	入居関係業務	使用関係業務	
	業務内容	○入居者募集事務、抽選事務、資格審査補助事務、入居決定補助事務	○収入調査補助事務、家賃決定補助事務、家賃減免補助事務 ○家賃収納事務、滞納家賃の督促・収納事務 ○入居者の異動等補助事務、用途変更等補助事務 ○目的外使用補助事務、住民活動支援事務	
	実施状況	○新築募集及び年4回の定期空き家募集を行い、抽選により決定した仮当選者に対し入居資格審査を行った。 ○抽選後、定期募集で応募の無かった住戸については、再度募集を行った。	○収入調査、家賃決定、家賃減免決定、入居承継承認及び同居承認等の事務補助を行った。 ○家賃の収納に関し、口座振替手続き、納入通知書の送付、現金の収納を行った。 ○滞納家賃の督促については文書催告に加え、電話や滞納者宅の訪問により、納付指導を行った。 ○地域活動促進事業については、入居者の要請に応えるべくアンケートを実施し、要望物品を支給した。	
	未履行の有無	無	無	
管理業務の実施状況	指定管理業務	明渡し等関係業務	保守点検・修繕業務	駐車場の管理関係業務
	業務内容	○明渡し・敷金返還補助事務	○県営住宅・共同施設の保守点検事務及び修繕事務 ○集会所等の管理事務	○駐車場の使用許可関係の補助事務、駐車場使用料の収納事務、滞納駐車場使用料の督促事務
	実施状況	○退去に伴う明渡し検査や敷金返還に係る補助事務を行った。 ○長期滞納者・高額所得者に対し明渡し請求の事務補助を行った。	○エレベーター、合併処理浄化槽及び消防設備等の保守点検を各期間内に実施した。 ○緊急を要する修繕については、夜間・休日を問わず速やかに対応した。 ○経年劣化や性能低下の状況を調査し、計画的に修繕業務を実施した。	○駐車場使用料の収納に関し、口座振替手続き、納入通知書の送付、現金の収納を行った。 ○駐車場及び自動車保管場所の使用承諾を行った。 ○駐車区画の割り当てや不正駐車を防止する活動を行った。
	未履行の有無	無	無	無
管理業務の実施状況	指定管理業務	建替事業関係業務	管理人関係業務	電算処理関係業務
	業務内容	○入居者説明会の補助事務、仮住居の提供事務	○管理人との連絡調整、管理人会議の開催	○県営住宅管理業務に係る電算処理
	実施状況	○対象者への意向確認アンケートを行い、入居説明会の開催準備や部屋決め説明会を開催するとともに、滞りなく転居できるよう移転時期調整を行った。	○管理人の委嘱・解職の補助事務を行った。 ○管理人会議は新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、資料配布のみとし、団地巡回時に、管理に係わる意見や要望等を聴取し連絡調整を図った。	○新規情報や更新情報について、遅滞なく正確にシステムへ入力し、常に最新情報が利用可能な状態であるよう整理した。
	未履行の有無	無	無	無
施設管理実績	管理戸数(戸)	令和3年度	12,819	
		令和4年度	12,869	
		増減	50	
	実績の分析	○管理戸数は、建物老朽化による計画的建替を実施しているため、単年度では増減が生じる。		



利用促進に向けた新たな取組		<p>○新築や空き家募集の情報をインターネットで配信・提供しており、ホームページのリニューアル後は入居者向けの提出用書類を掲示している。</p> <p>○窓口でも要請に応じて代表的な間取りを示し、物件内容を分かりやすく説明している。</p> <p>○入居資格審査は、一応の期間及び時間帯はあるが、応募者に応じてフレキシブルに変更している。</p> <p>○連帯保証人を2名から1名に減員し、かつ自然人の連帯保証人が立たない場合は高齢者住宅財団による機関保証を利用できることとしている。</p>				
収支結果		科目	予算額(円)	決算額(円)	差異(円)	
		収入	1,170,198,000	1,170,198,000	0	
		支出	1,170,198,000	1,170,600,233	402,233	
		差引(収入-支出)	0	△402,233	△402,233	
		<p>○収入の不足金額部分は、雑収入(65歳超雇用推進助成金)で補填。</p> <p>○県営住宅等の管理業務において、適正かつ効率的に事業執行した。</p>				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<p>○県下全域の県営住宅管理人に対し、令和5年2月に管理業務の評価についてアンケートを実施した。(回答率62.3%、回答数332)</p> <p>○5段階評価のうち、「あまり良くない」、「良くない」との回答は、合わせて5.14%であり、目標の10%を下回った。</p>				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<p>○インターネットによる団地の詳細情報や募集情報及び抽選結果情報の提供を行うとともに、入居者向けに提出用書類を掲示した。</p> <p>○定期募集の抽選後の落選者・補欠者に、入居希望者の救済措置として再募集を実施した。</p> <p>○専任管理人に対し、家賃算定等の業務研修を統一的に実施した。</p> <p>○複数の職員による家賃減免や収入報告書の審査を徹底した。</p>				
	現状の課題	<p>○応募者が減ってきており、入居戸数が減少している。</p> <p>○滞納退去者の家賃等の縮減が進まない状況にある。</p>				
	改善方策	<p>○ホームページの内容を充実し、よりの確で分かりやすい情報の提供に努める。</p> <p>○山口県債権管理条例に則り、適切な処置を行う。</p>				
数値目標 (アンケート調査の総合評価)		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(%)	対応が不満足と回答した人の割合が10%以下	対応が不満足と回答した人の割合が10%以下	対応が不満足と回答した人の割合が10%以下	対応が不満足と回答した人の割合が10%以下
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		油谷青少年自然の家				
指定管理者名		株式会社F E E L				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営に関する業務		使用に関する業務	維持管理に関する業務	
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業</li> <li>○自主事業</li> <li>○フィールドの整備及び研修プログラムの研究開発</li> <li>○地域との連携と支援ボランティアの育成等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用申請の受付、許可</li> <li>○利用料金の徴収</li> <li>○入所者への食事などの必要なサービスの提供</li> <li>○事業に係る広報等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物保守管理</li> <li>○設備機器保守管理</li> <li>○清掃</li> <li>○物品管理</li> <li>○外構、植栽管理</li> <li>○環境衛生管理</li> </ul>	
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;受入事業&gt;</li> <li>○研修団体と事前に研修内容を調整し、指導助言</li> <li>&lt;研修プログラムの研究&gt;</li> <li>○集いの広場をキャンプ及び活動ができる環境に整備(砂利から芝生に変更)</li> <li>○SUPの導入など、新たな体験プログラムを開発</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業広報等&gt;</li> <li>○定期的に施設広報誌を発行</li> <li>○HP・SNSの更新</li> <li>○ポスターやチラシを域内外に掲示及び配布</li> <li>○地域の新聞社やケーブルテレビの協力による自主事業等の積極的な広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;建築物保守管理&gt;</li> <li>○ロビーのワックス塗布</li> <li>&lt;外構、植栽管理&gt;</li> <li>○国道からの植栽について職員による定期的な選定作業</li> <li>&lt;環境衛生管理&gt;</li> <li>○手指消毒液の常備</li> <li>○職員による定期的なトイレ清掃</li> </ul>	
	未履行の有無	無		無	無	
施設利用実績		利用者数(人)		令和3年度	9,877	
				令和4年度	24,019	
				増 減	14,142	
		実績の分析		○令和3年度同様、新型コロナウイルス感染拡大に伴うキャンセルや宿泊から日帰りへの変更などはあったものの、学校や団体の予約自体が大幅に増加したことや、地域団体との連携を強化し出前講座などを積極的に行ったことが、利用者数の増加に繋がった。		
利用促進に向けた新たな取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規主催事業や利用者のニーズに対応するため、テントサウナを導入。</li> <li>○幼児自然体験、フリーダイビング、イカダ作りキャンプなど新たな主催事業を実施。</li> </ul>				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	38,923,000	38,966,405	43,405	
		支 出	38,923,000	35,089,700	△3,833,300	
		差引(収入-支出)	0	3,876,705	3,876,705	
		○節約を心がけた予算を組み、支出は計画的に執り行った。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;利用者アンケート実施結果(受入事業)&gt;</li> <li>○職員対応：良い 93.0%、やや良い 7.0%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○食事内容：良い 90.0%、やや良い 10.0%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○食堂対応：良い 100.0%、やや良い 0.0%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○研修成果：良い 94.4%、やや良い 5.6%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> </ul>				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日帰り学習や出前講座の実施</li> <li>○SUP、ブッシュクラフト、キャンプインストラクターなどの新たな資格の取得や、継続的な研修の実施</li> <li>○リーフレットのリニューアルなど情報発信の改善と強化</li> </ul>				
	現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児団体の利用</li> <li>○研修プログラムの新規開発</li> <li>○閑散期の利用客増加</li> <li>○新規客層の獲得</li> </ul>				
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○営業及び連携の強化</li> <li>○研修視察や利用客へのニーズ調査</li> <li>○海以外のフィールドを利用したプログラムの作成</li> <li>○情報発信の改善と強化</li> </ul>				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	25,000	25,000	25,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		秋吉台青少年自然の家				
指定管理者名		公益財団法人山口県ひとつくり財団				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営に関する業務	使用に関する業務	維持管理に関する業務		
	業 務 内 容	○受入事業 ○自主事業 ○フィールドの整備及び研修プログラムの研究開発 ○地域との連携と支援ボランティアの育成等	○使用申請の受付、許可 ○利用料金の徴収 ○入所者への食事などの必要なサービスの提供 ○事業に係る広報等	○建築物保守管理 ○設備機器保守管理 ○清掃 ○物品管理 ○外構、植栽管理 ○環境衛生管理		
	実 施 状 況	<地域との連携> ○地元農家から畑の提供 ○山焼きに向けた火道切りの整備、夏季の草刈りなど <支援ボランティアの育成> ○大学生ボランティアの活用と育成	<事業広報等> ○HPの随時更新や報道機関・情報誌等へのチラシ配布 ○利用の手引きやリーフレットを学校や関係機関に配布 ○各事業のチラシを近隣幼稚園・小学校に配布	<建築物保守管理> ○プレハブ倉庫設置及びその他倉庫屋根改修 ○野外炊事場防風ネット設置 ○ロビー空調設備電源配線 <設備機器保守管理> ○男子トイレ配管等修理 ○厨房冷凍庫修理 ○污水配管つまり除去		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	5,646		
			令和4年度	6,542		
			増 減	896		
		実績の分析	○今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用率、宿泊率そして稼働率全て目標値に達することができなかった。			
利用促進に向けた新たな取組		○自主事業等の内容の充実やPR ○施設や活動内容を広く周知するため、HPを随時更新し、施設の取組を積極的に発信				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	58,838,000	58,579,528	△258,472	
		支 出	58,838,000	61,760,827	2,922,827	
		差引(収入-支出)	0	△3,181,299	△3,181,299	
		○収入においては、利用料金収入について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、予算額を達成することができなかった。 ○支出においては、事業運営や通常業務に要する経費など、できる限りの節減や効率的な運用を図り、適正な執行に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<利用者アンケート実施結果(受入事業)> ○研修プログラム：良い94.7%、やや良い5.3%、やや悪い0.0%、悪い0.0% ○職員対応：良い100.0%、やや良い0.0%、やや悪い0.0%、悪い0.0% ○食事内容：良い92.6%、やや良い3.7%、やや悪い3.7%、悪い0.0% ○食堂対応：良い93.1%、やや良い3.5%、やや悪い3.4%、悪い0.0% ○研修成果：良い96.7%、やや良い3.3%、やや悪い0.0%、悪い0.0%				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○秋吉台の自然を活かした新規自主事業の開拓・開発に努めた。 ○閑散期における近隣小学校での出前授業を実施した。 ○閑散期に実施可能な新規自主事業の開発に努めた。				
	現 状 の 課 題	○受入施設として、条件的な制約がある中での12月以降の閑散期における利用団体の増加				
	改 善 方 策	○秋吉台の自然を活かした新規自主事業を開拓・開発する。 ○閑散期における近隣小学校での出前授業を実施する。 ○閑散期に実施可能な新規自主事業を開発する。				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	12,000	12,000	12,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		十種ヶ峰青少年自然の家				
指定管理者名		公益財団法人山口県ひとつくり財団				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営に関する業務		使用に関する業務	維持管理に関する業務	
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受入事業</li> <li>○自主事業</li> <li>○フィールドの整備及び研修プログラムの研究開発</li> <li>○地域との連携と支援ボランティアの育成等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用申請の受付、許可</li> <li>○利用料金の徴収</li> <li>○入所者への食事などの必要なサービスの提供</li> <li>○事業に係る広報等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物保守管理</li> <li>○設備機器保守管理</li> <li>○清掃</li> <li>○物品管理</li> <li>○外構、植栽管理</li> <li>○環境衛生管理</li> </ul>	
	実施状況	<p>&lt;フィールドの整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児向け自然体験活動エリア「がみねの森」整備</li> </ul> <p>&lt;受入事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用団体のニーズに沿った安全で効果的な活動が行われるよう、利用団体事前研修会を実施</li> </ul>		<p>&lt;事業広報等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○HPやSNSを活用した施設情報の発信</li> <li>○年4回の所報「十種ヶ峰だより」の発行・メール配信</li> <li>○自主事業の案内を過去の参加者や学校、公民館等の近隣施設等に送付・メール配信</li> </ul>	<p>&lt;建築物保守管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プレハブ倉庫設置及びその他倉庫屋根改修</li> <li>○野外炊事場防風ネット設置</li> <li>○ロビー空調設備電源配線</li> </ul> <p>&lt;設備機器保守管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森のチャレンジコースにおけるロープコース業者による定期検査と補修工事</li> </ul>	
	未履行の有無	無		無	無	
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	9,549		
			令和4年度	11,329		
			増 減	1,780		
		実績の分析	○受入停止はなかったが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として定員の半数までに制限して稼働し、おおむね当初の目標値並の利用実績であった。			
利用促進に向けた新たな取組		<p>○新型コロナウイルス感染症対策として、食事のテーブル、宿泊室の利用は定員の半数とし、特に自主事業では、食事のテーブル、宿泊室、浴室は家族のみの利用とした。</p> <p>○児童・生徒の自立に向けた取組として、県の「不登校に悩む家庭サポート事業」と連携した「家族でほっとふれ愛キャンプ」を新たに立ち上げ、不登校等課題を抱える児童・生徒の家族を対象に実施した。</p>				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	64,780,000	67,573,684	2,793,684	
		支 出	64,780,000	66,330,486	1,550,486	
		差引(収入-支出)	0	1,243,198	1,243,198	
		○施設の経年劣化に伴う支出が多くなっているが、その他はおおむね事業計画書に沿った執行状況である。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<p>&lt;利用者アンケート実施結果(受入事業)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修プログラム：良い 93.9%、やや良い 6.1%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○職員対応：良い 96.8%、やや良い 3.2%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○食事内容：良い 85.1%、やや良い 14.9%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○食堂対応：良い 87.0%、やや良い 13.0%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> <li>○研修成果：良い 95.2%、やや良い 4.8%、やや悪い 0.0%、悪い 0.0%</li> </ul>				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然体験プログラムの自主事業や、家族や少人数でも気軽に利用できるようなプログラムの企画・実施</li> <li>○出前事業を広く周知するためチラシを各学校等に配布</li> </ul>				
	現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12月以降の冬季利用者の確保</li> <li>○家族や少人数での日帰りで気軽に利用できるプログラムの提供</li> </ul>				
	改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冬季の利用者を増やすため、歩くスキーや冬の自然を活かした魅力あるプログラムの開発</li> <li>○家族や少人数での日帰りで利用できる自然体験プログラムの企画・実施</li> </ul>				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	12,500	12,500	12,500	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			

指定管理施設名		由宇青少年自然の家				
指定管理者名		公益財団法人山口県ひとつづくり財団				
指 定 期 間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日				
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営に関する業務	使用に関する業務	維持管理に関する業務		
	業務内容	○受入事業 ○自主事業 ○フィールドの整備及び研修プログラムの研究開発 ○地域との連携と支援ボランティアの育成等	○使用申請の受付、許可 ○利用料金の徴収 ○入所者への食事などの必要なサービスの提供 ○事業に係る広報等	○建築物保守管理 ○設備機器保守管理 ○清掃 ○物品管理 ○外構、植栽管理 ○環境衛生管理		
	実施状況	<フィールドの整備> ○ウォークラリーコースの改修、親水広場の整備 <地域との連携> ○岩国市・市教委・大学や地域と連携した、海辺の生き物観察や地域の伝統行事の伝承活動などの取組	<事業広報等> ○HP・SNSによる情報発信や、学校や企業等の訪問による広報活動 ○近隣の公共施設やケーブルテレビを活用した情報発信 ○インスタグラムを活用した若者向けの情報発信	<設備機器保守管理> ○昇降機・電気設備・消防設備等について、適切な定期点検等により安全を確認 <外構、植栽管理> ○倒木処理 ○草刈・除草・剪定等により緑樹を適切な状態で維持		
	未履行の有無	無	無	無		
施設利用実績		利用者数(人)	令和3年度	12,564		
			令和4年度	17,516		
			増 減	4,952		
実績の分析		○令和4年度の利用者数は17,516人、うち宿泊者数は6,410人となり、前年度比で利用者数が139%、宿泊者数が170%と大きく増加したが、コロナ禍前の令和元年度との比較ではおおむね50%程度の回復状況である。				
利用促進に向けた新たな取組		○HPやフェイスブックに加えてインスタグラムを積極的に活用した。 ○創作活動では、これまでの常設プログラムに加えて、簡単工作、時期を限定した期間限定プログラムを開発した。 ○学校からのニーズが高いAFPYに対する指導力向上を図るため、外部研修への職員派遣や受講者による伝達研修も実施した。				
収 支 結 果		科 目	予算額(円)	決算額(円)	差 異(円)	
		収 入	100,488,000	107,161,629	6,673,629	
		支 出	100,488,000	100,302,263	△185,737	
		差引(収入-支出)	0	6,859,366	6,859,366	
		○利用者の増により収入が増加した。 ○支出においては、事業運営や通常業務に要する経費など、できる限りの節減や効率的な運用を図り、適正な執行に努めた。				
サービスの質の評価 (利用者満足度調査結果等)		<利用者アンケート実施結果(受入事業)> ○研修プログラム：良い 89.6%、やや良い 9.0%、やや悪い 1.4%、悪い 0.0% ○職員対応：良い 93.8%、やや良い 5.4%、やや悪い 0.0%、悪い 0.8% ○食事内容：良い 83.9%、やや良い 11.6%、やや悪い 3.4%、悪い 1.1% ○食堂対応：良い 92.0%、やや良い 6.9%、やや悪い 0.0%、悪い 1.1%				
課題と改善方策等	前年度までの改善方策に対する取組状況	○職員のマナー・接遇の向上、プログラムの改善、施設環境整備を柱とした全職員参加による所内会議等の開催				
	現状の課題	○施設設備の老朽化対策 ○災害防止対策と安心安全の確保				
	改善方策	○老朽化施設等について、県と情報共有し、適切な役割分担による計画的な改修整備を実施 ○予め不測の事態に備えた対応方法等を確認するとともに、安全点検を確実に実施				
数 値 目 標 (利用者数)		年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値(人)	37,000	37,000	37,000	—
労働条件・環境		■適 □否	否の場合の内容と対応			